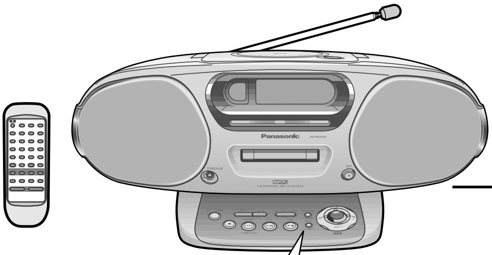
Panasonic®



パーソナル MD システム

取扱説明書

品番 RX-MDX60

パネル表示の変化について デモ機能

電源コードをコンセントに差し込むと、表示パネルの表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ**（デモンストレーション）**機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしても、表示パネルの表示は全消灯せず、デモ機能が働きます。

■デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示するまで押し続ける

押し続けるたびに
DEMO OFF（切）←→ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
時計合わせの方法については、「時計を合わせる」（⇨ 8ページ）をご覧ください。

お願い

- 電源プラグを約1週間以上、抜いておくとデモ機能「入」に戻ります。もう一度、上記の操作で「切」にしてください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　MDLP　Mini Disc

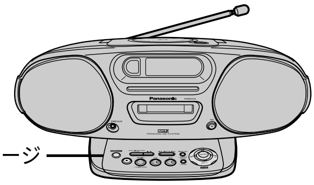
このたびは、パーソナル MD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

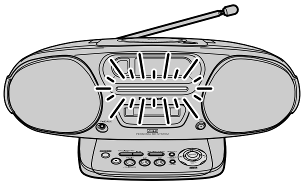
オペレーションステージについて

本体下部のオペレーションステージに基本操作ボタンが全て集められているので、手元集中操作ができます。
また、本体の向きが上方向に調節できます。（⇨7ページ）



ライトモード（LIGHT MODE）について

音楽に合わせて本機前面の発光部をフラッシュさせたり、MD を入れるときに点滅させるなど、光の演出を楽しむことができます。
お買い上げ時は「入」に設定されています。
ライトモードを止めるには、42ページ「ライト機能」をご覧ください。



MD の長時間ステレオ録音／再生（MD**LP**）について

本機は新しい MD のフォーマット MD**LP** に対応しています。
ATRAC 3 という音声圧縮技術により、ステレオ音声で2倍（LP2）または4倍（LP4）の長時間録音ができます。録音するソース（音源）や録音方法に関係なく設定できます。
また、1枚の MD に違う LP モード（標準／LP2／LP4）の曲を混ぜて録音することもできます。

MD のグループ管理について

連続した数曲を、ひとかたまりのグループとして管理することができます。
例えば3枚の CD（アルバム）をMDに録音して、各アルバムごとに3つのグループ（グループ1、2、3）として管理することができます。

グループ 1（グループ番号）				グループ 2		（グループにまとめていない曲）				グループ 3			
曲番 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
A 曲	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	

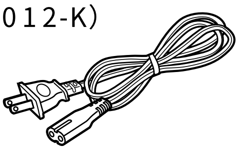
グループ番号は本機が順番に（自動的に）つける番号です。曲番7～10を1つのグループにまとめると、これらがグループ3 になり、上図のグループ3 はグループ4 になります。

本書の見かた

本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンでも、本体のボタンと同様の名前のものは、同じように操作できます。
（リモコンのみで行う操作には、**リモコンのみ** と記載しています。）
それぞれのボタンについては、52ページ「各部のなまえ」をご参照ください。

付属品の確認

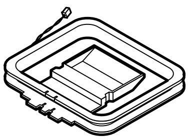
□電源コード ……………………1 本
（品番：RJA0012-K）



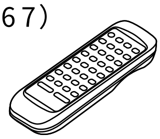
お願い

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

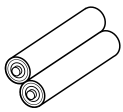
□AM ループアンテナ …………1 個
（品番：G0ZZ00002036）



□リモコン ………………………1 個
（品番：EUR648267）



□リモコン用・単3形乾電池 …2 個



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。（ ）内は買い替え時の品番を表します。

もくじ

まず
確認と準備

すぐ
使いたいとき

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

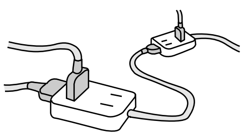
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

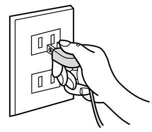
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



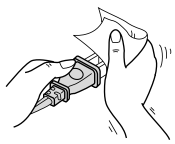
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

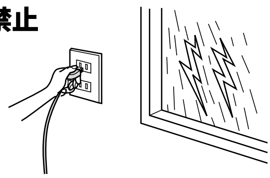
ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない

接触禁止



- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

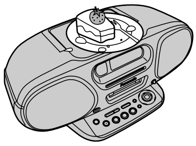
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

ご使用について

機器の上にものを載せない



• 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

• ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
• 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
• 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

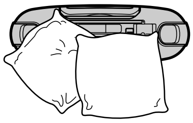
分解禁止

• 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
• 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

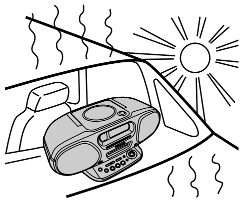
設置について

放熱を妨げない



• 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない



• 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
• 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

• 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に設置しない

• 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

• ⊕と⊖は正しく入れる
• 長期間使用しないときは、取り出しておく

• 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
• 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
• 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は誤った使い方をしない

• 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
• 乾電池は充電しない
• 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
• ネックレスなどの金属物といっしょにしない
• 乾電池の代用として、充電式電池を使わない
• 被覆のはがれた電池は使わない

安全上のご注意

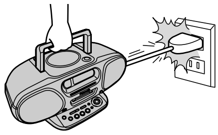
⚠注意

ご使用について

ひび割れ、変型したディスクやハート形などの特殊形状のディスクは使わない

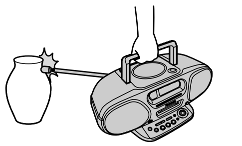
- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない



- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- 破損して、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

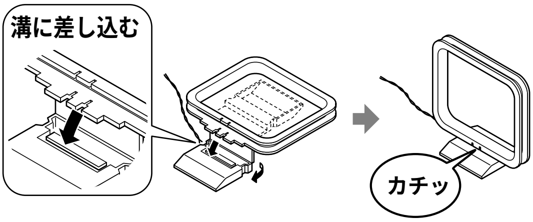
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

アンテナの接続と調整

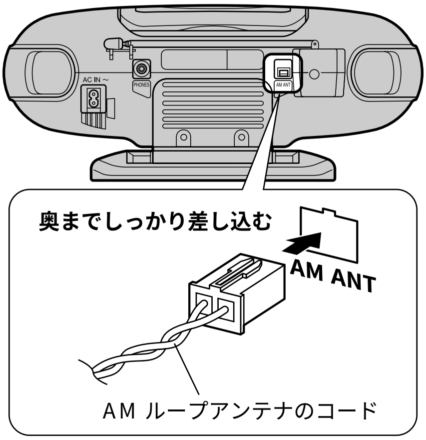
AM ループアンテナ（付属）の接続と調整

本機は AM アンテナを内蔵していません。
AM ループアンテナの接続と調整をしてください。

1 **アンテナを組み立てる**



2 **本機後面に接続する**

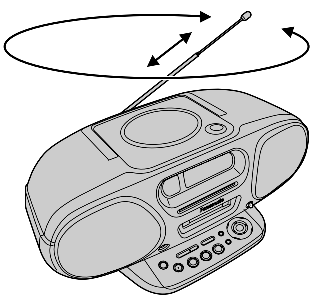


3 **放送局を受信してみて**（⇨ 14ページ）、**雑音が少ない位置と角度を選ぶ**

■AM ループアンテナを外すには
ループアンテナのコードをゆっくりと引っ張る。

FM ホイップアンテナの調整

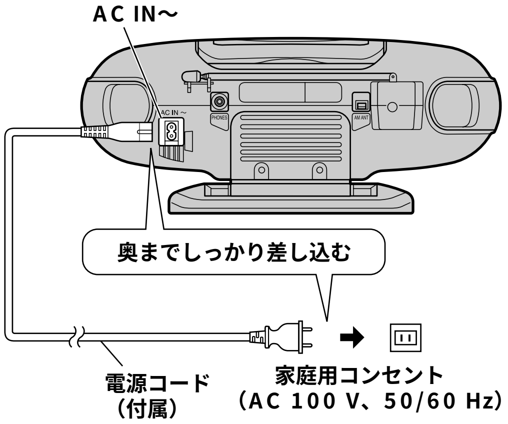
受信状態がよくないときは、長さと向きを調節する。



電源の準備

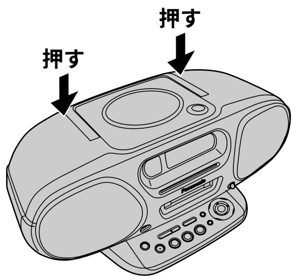
家庭用コンセントで使います。
電池では使えません。

本機後面



設置について

本体の向きが上方向に調節できます。



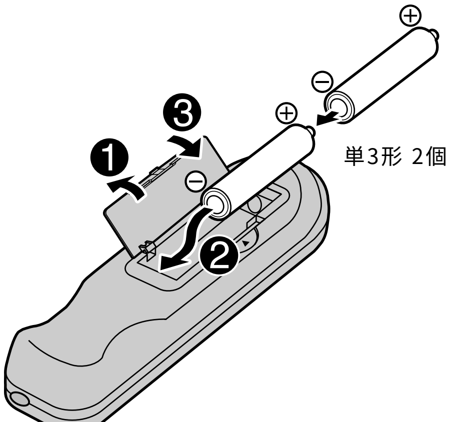
聞きやすく、表示が見やすい位置にします。
・上方向約15°可変

お願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。
テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

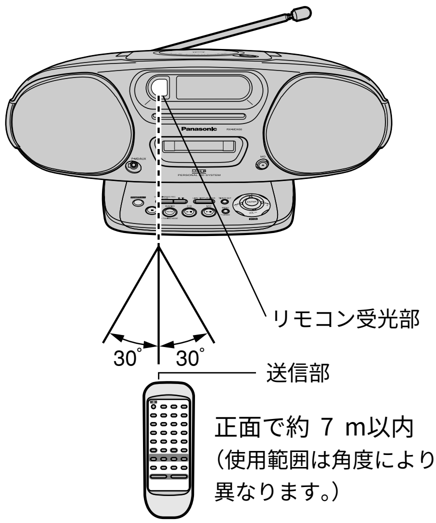
リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる



- ⊕と⊖は正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使いかた



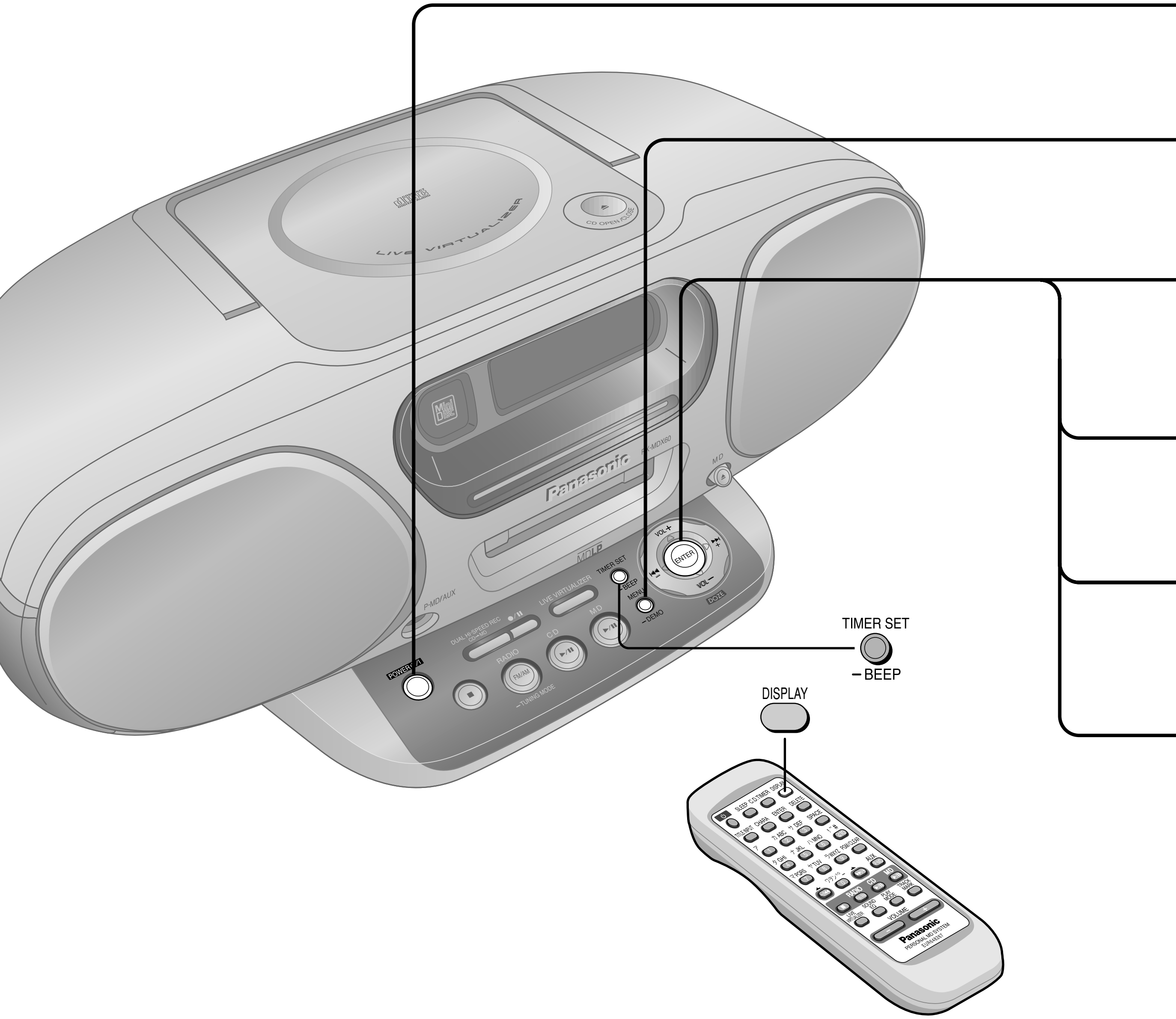
正しく送信するために

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

リモコンの故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなどの液状のものをこぼさない。

時計を合わせる（２４時間表示）

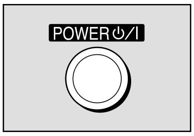


メモリーの保持について

電源プラグを3 分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、右のように、設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を越えて、停電したり電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、再び設定してください。
メモリー内容を消したくない場合は、電源オフ時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。（電源オフ時の消費電力：約 0.6 W）

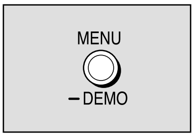
例）１０時０３分に合わせる。

1



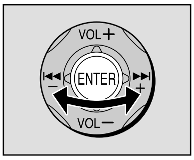
押して
電源を入れる

2



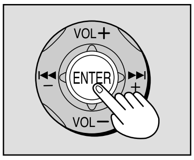
押す

3



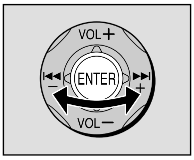
動かして
“ TIME ADJUST ” を選び

TIME ADJUST



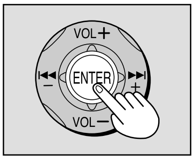
押す

4



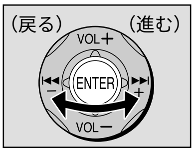
動かして
“ CLOCK ” を選び

CLOCK



押す

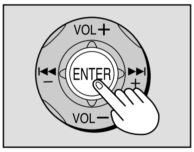
5



約１０ 秒以内に
動かして
時刻を合わせる
時間、分を同時に合わせます。

CLOCK 10 : 03

6



押して
時計をスタートさせる
時報などに合わせて押してください。

CLOCK 10 : 03
約1 秒で元の表示に戻る

■時計を表示させるには ⇨ リモコンの DISPLAY 押して、CLOCK表示にする

- 電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。（本体の TIMER SET –BEEP 押すと照明が点灯し、見やすくなります。約3秒で自動消灯します。）

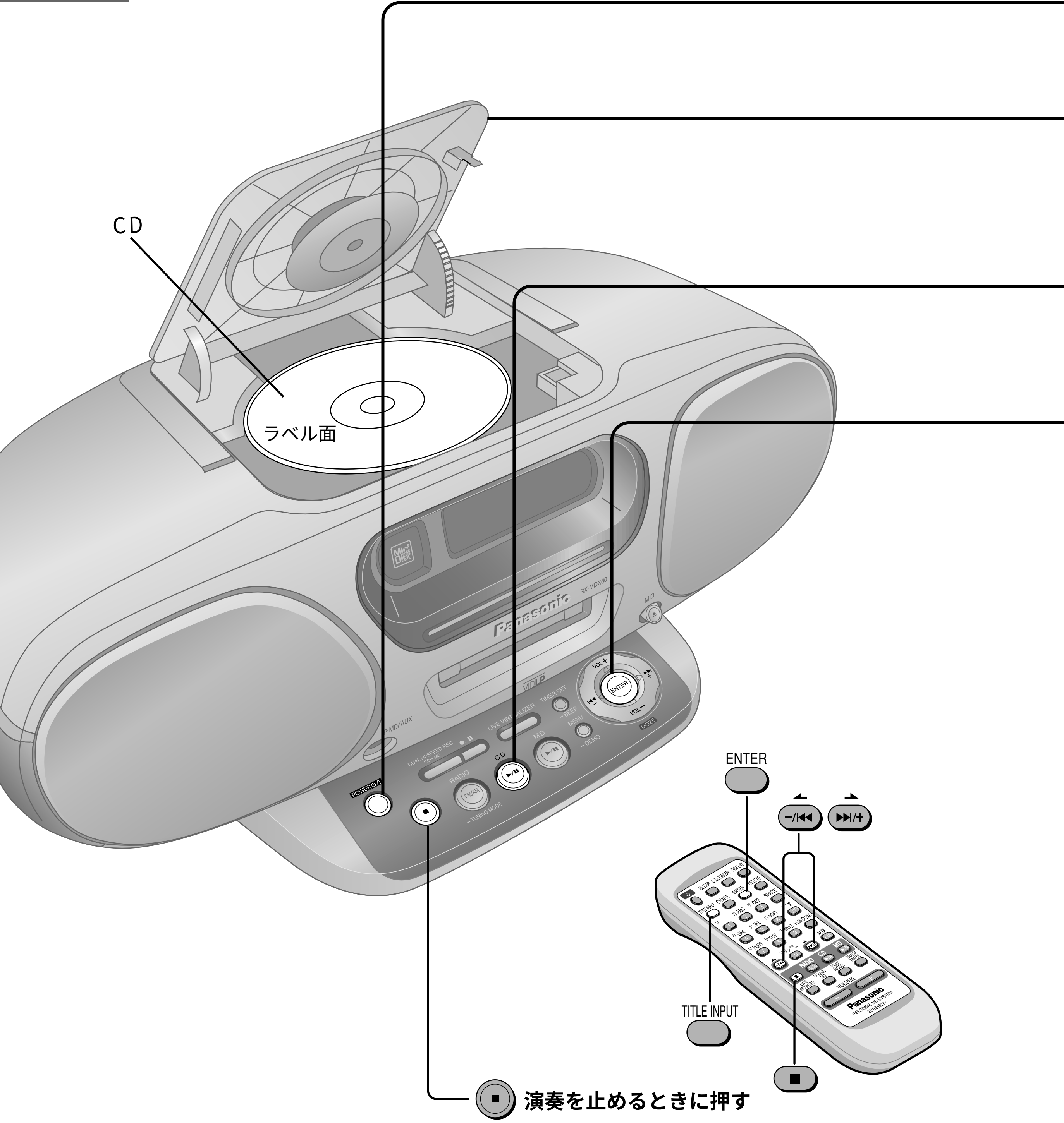
お知らせ

- 時計精度は室温において月差約１分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 約74 分以内の停電をした場合、停電復帰時に時計表示全体が点滅します。
  この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時刻が合っていることを確認してください。
- 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。

● 約74 分間、保持する項目
- 現在時刻
- タイマー設定（時刻以外の内容）

● 約1週間、保持する項目
- タイマー設定（時刻）
- 放送局の設定（エリアバンク）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- ＭＤ のプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定、など

CDを聞く



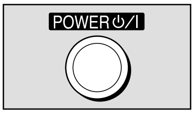
CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によっては再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

お願い

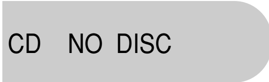
- 演奏中、一時停止中、または CD を入れて CD ふたを閉めた直後に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷が付く恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CD ふたを開けてください。

1

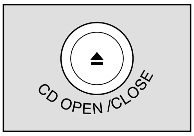


押して
電源を入れる

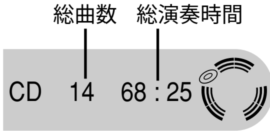
CDモードになっているときは、CDが入っていないことを表しています。



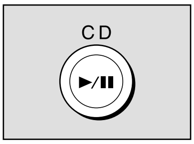
2



押して CD ふたを開き
CD を入れ、もう一度
押して閉める
CDモードになっているときは、
曲数、総演奏時間が表示されます。

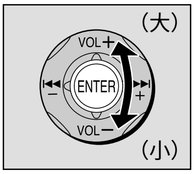


3

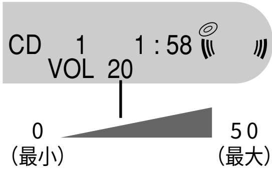


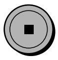
押して
演奏を始める
1曲目から演奏します。

4



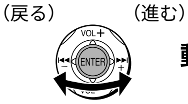
動かして
音量を調節する



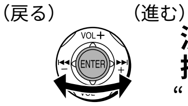
■CD を取り出すには ⇨  押して**演奏を止め、** 押して **CD ふたを開ける**

■一時停止するには ⇨

押す
“ CD PAUSE ” が点滅表示されます。
(演奏に戻るには、もう一度押す)

■前後の曲にとぶには
(スキップ) ⇨ 

動かす

■早戻し/早送りするには
(サーチ) ⇨ 

演奏中(または一時停止中)**に**動かして、
押し続ける
“ CD SEARCH ” が表示されます。

お知らせ

・すでに CD が入っているときは、手順**3**から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。**(ワンタッチプレイ)**

CD にタイトルを付けて本機に記憶するには

リモコンのみ

10枚までの CD のタイトルを本機に記憶できます。
演奏時などに表示させることができます。

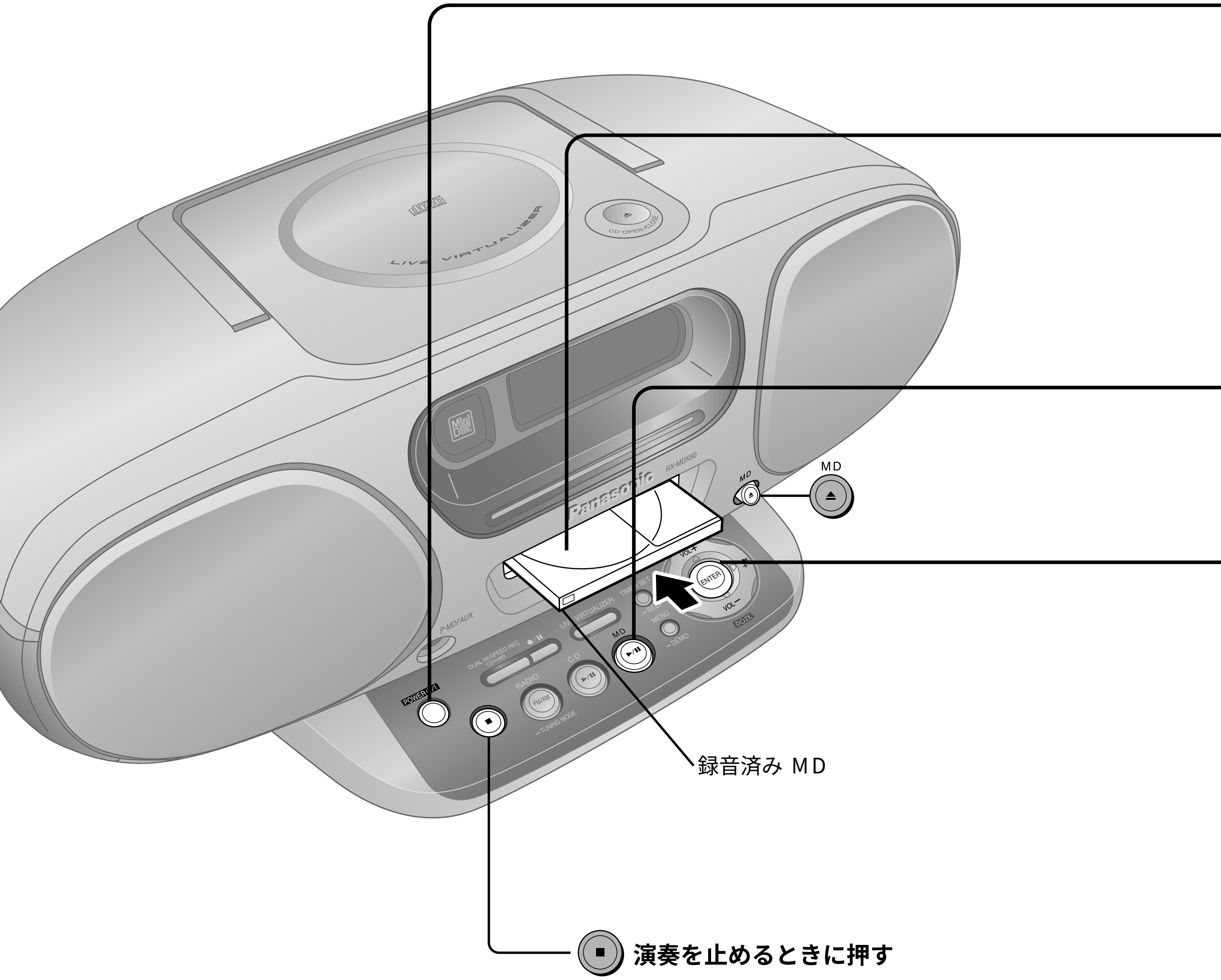
CD の停止中に

① [TITLE INPUT] を押す
② タイトルを入力する (最大15文字) (⇨ 32ページの手順 ❹)
③ [ENTER] を押す

・CD 10枚の記憶済みタイトルを入れ替えるには
CD の停止中に
① 新しくタイトルを付けたい CD を入れる
② [TITLE INPUT] を押す
“ MEMORY FULL ” が点滅表示されます。
③ 約10 秒以内に [◄◄/⏮] または [⏭/►►] を押して、消してもよいタイトルを選び [ENTER] を押す
④ 新しいタイトルを入力する (最大15文字) (⇨ 32ページの手順 ❹)
⑤ [ENTER] を押す

タイトル入力を止めるには: [■] を押す。

MDを聞く

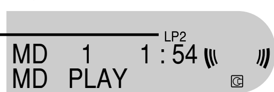


MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

MD**LP** は新しい音声圧縮技術によって長時間（2倍または4倍）ステレオ録音、再生のできる方式です。
再生時には録音した時のLPモード（標準／LP2／LP4）に従って次のように表示されます。

・標準時間録音モードで録音した曲のとき　：表示なし
・2倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき ：“ LP2 ”
・4倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき ：“ LP4 ”

2倍長時間録音の場合



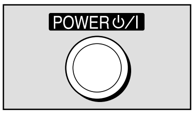
■ MD**LP で録音するには**（⇨ 16ページ）

● はじめて MD を使用する場合は、46ページ「MD について」をお読みください。

MDを聞く

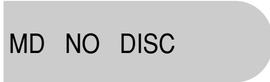
使いかた

1

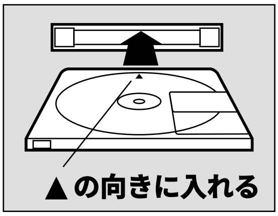


押して
電源を入れる

MDモードになっているときは、MDが入っていないことを表しています。



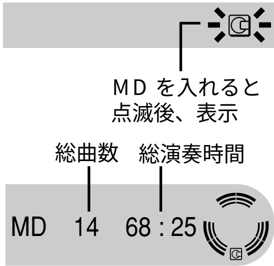
2



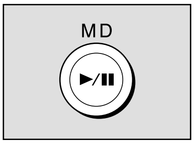
録音済み MD を入れる

MD を押し込むと自動的に引き込まれます。

MDモードになっているときは、曲数、総演奏時間が表示されます。

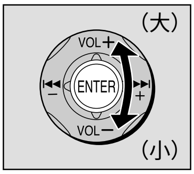


3

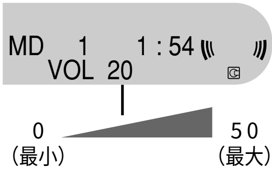


押して
演奏を始める

4



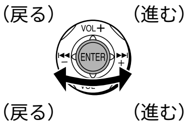
動かして
音量を調節する

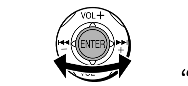


■MD を取り出すには ⇨ **押す**

■一時停止するには ⇨ **押す**

“ MD PAUSE ” が点滅表示されます。
（演奏に戻るには、もう一度押す）

■前後の曲にとぶには
（スキップ） ⇨  **動かす**

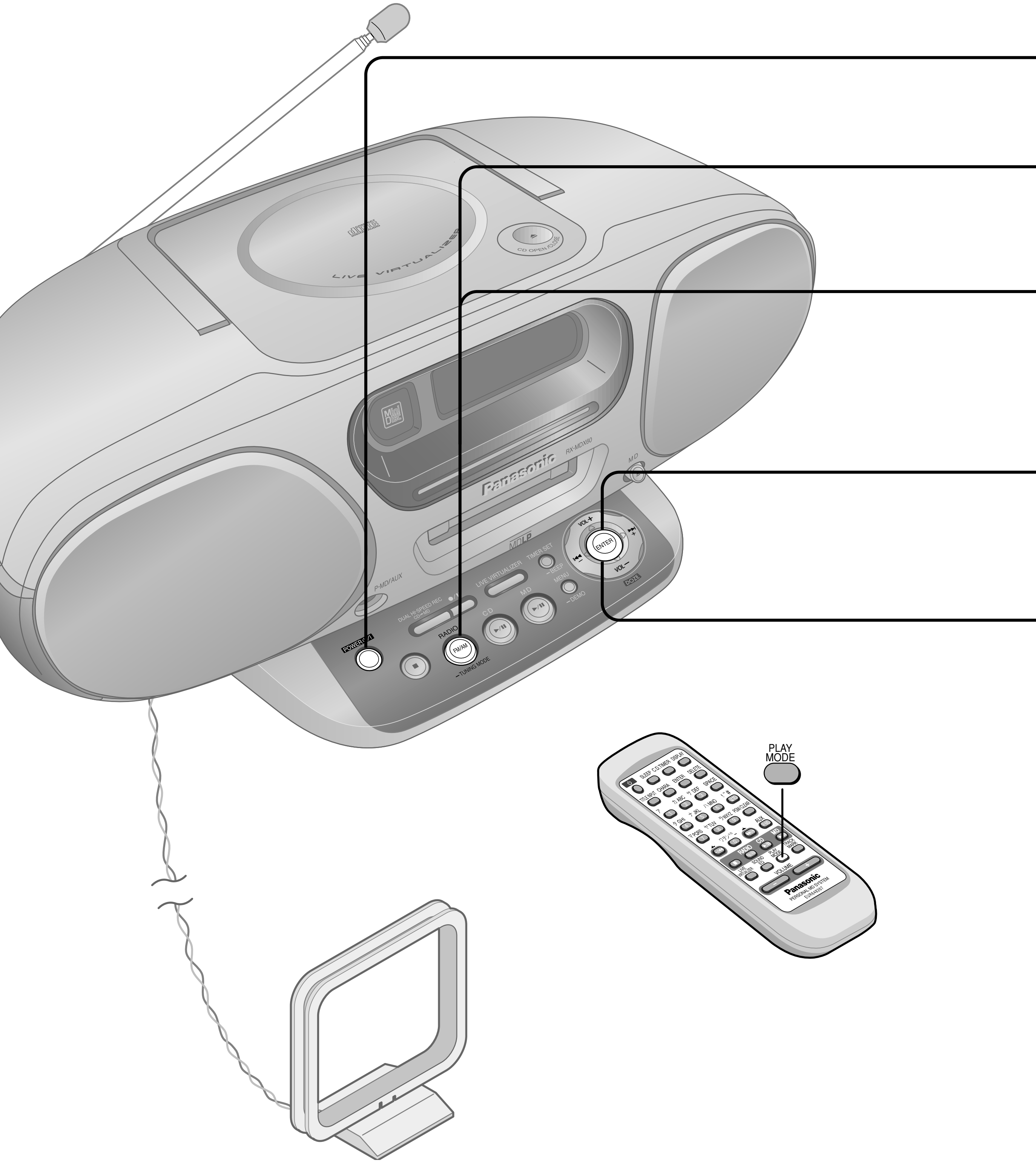
■早戻し／早送りするには
（サーチ） ⇨ 

演奏中（または一時停止中）**に**動かして、**押し続ける**
“ MD SEARCH ” が表示されます。

お知らせ

・すでに MD が入っているときは、手順**3**から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。**（ワンタッチプレイ）**
・他の機器でモノラル長時間録音した曲を本機で演奏すると、“ MONO ”が点灯します。

ラジオを聞く

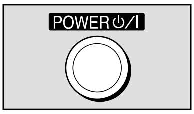


Panasonic
RX-MDX60
P-MD/AUX
POWER
RADIO
FM/AM
TUNING MODE
ENTER
VOL+
VOL−
PLAY
MODE

操作の前に
アンテナの接続と調整をする。（⇨ 6ページ）

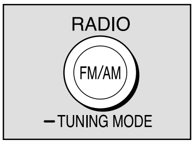
テレビ音声（1〜3 チャンネルのみ）は FM で受信します。

1

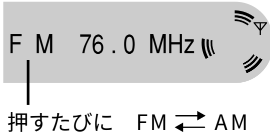


押して
電源を入れる

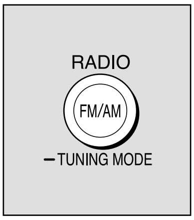
2



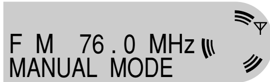
ポンと押して
FM または AM を選ぶ



3

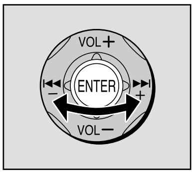


押し続けて
“MANUAL MODE”を選ぶ



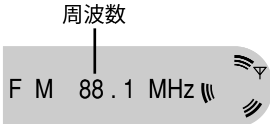
押し続けるたびに MANUAL MODE（マニュアル モード）：周波数を1ステップずつ変えて受信するモード
↕
PRESET MODE（プリセット モード）：エリアバンクなどで記憶させたチャンネルを選んで受信するモード（“ PGM ”が表示）

4

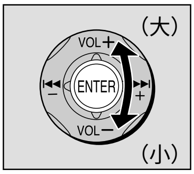


動かして
周波数を合わせる

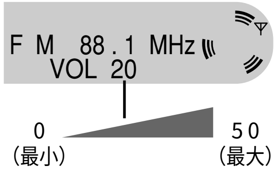
テレビの受信位置は： FM76.0MHz〜90.0MHz
TV3ch ↔ TV2ch ↔ TV1ch



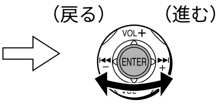
5



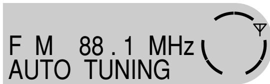
動かして
音量を調節する



■自動選局するには
（オートチューニング）

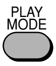


動かして、周波数が動き始めるまで
押し続け、
動き始めたら**離す**



- 放送局を受信すると自動停止します。
- 好みの放送局を受信するまでくり返す。

■FM ステレオで雑音が多いときは
（FM 76.0〜90.0 MHz受信時のみ）

リモコンの 

押して、**“ MONO ”を表示させる**

押すたびに
“ MONO ” ⇄ 消灯
（強制モノラル） （自動判別）

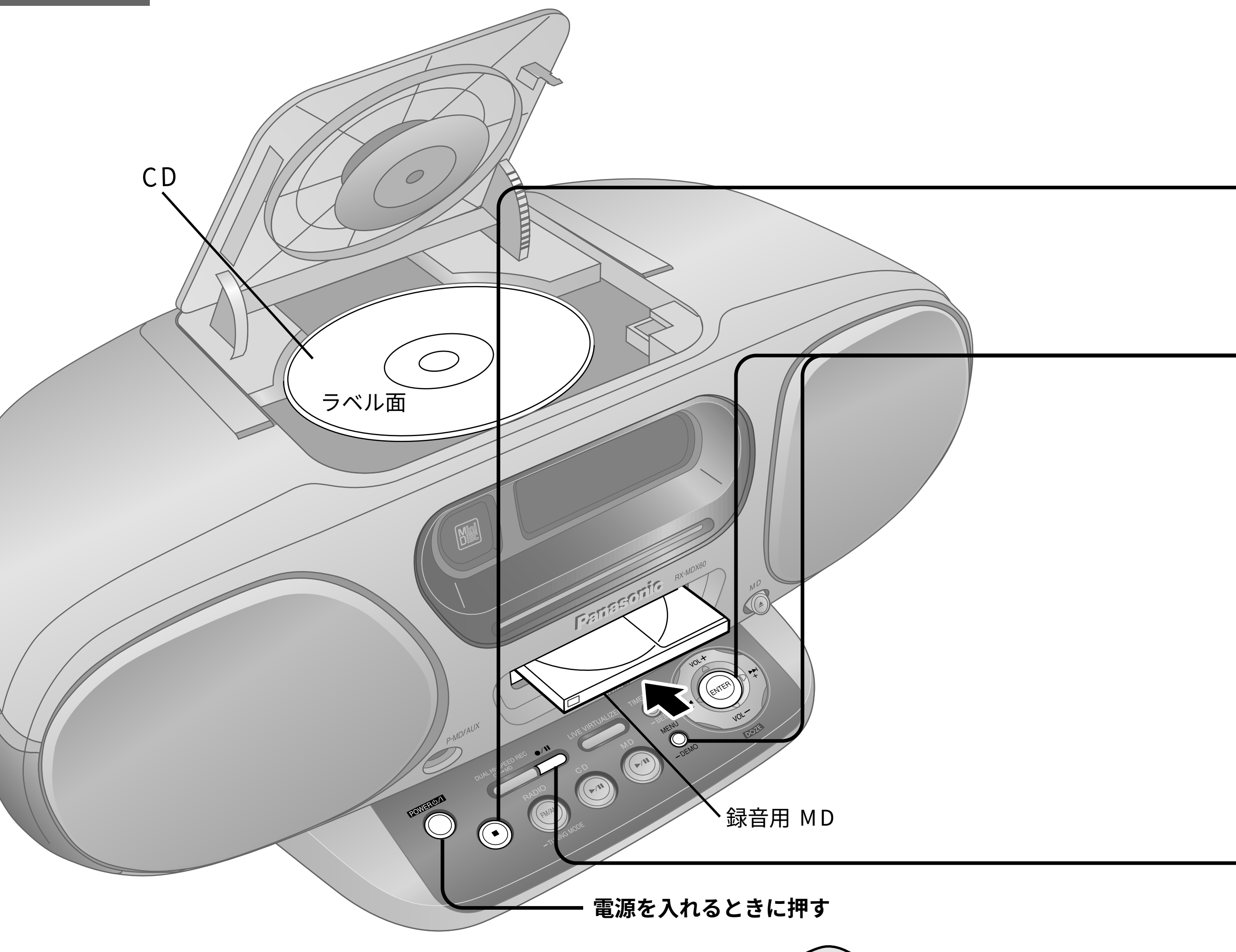
- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は“ MONO ”を消灯させておいてください。

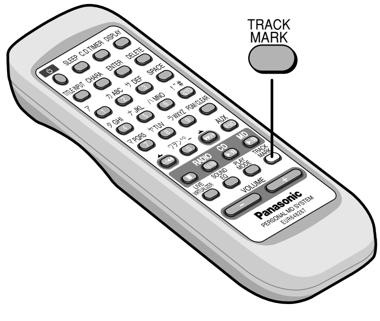
■放送局を記憶させて聞くには（エリアバンク）（⇨ 22ページ）
- お住まいの地域を指定して、記憶させておくと簡単な操作で聞くことができます。

お知らせ
- AM とテレビの音声はモノラルです。
- 受信しにくいときは、本機を窓際などに設置してアンテナの向き、長さを調節してください。（⇨ 6ページ）

本機のTV 受信回路について
FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM が混信することがあります。

CDをMDに録音する





MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

- 本機で2倍または4倍長時間録音された曲は、MDLPに対応した機器以外では演奏できません。
- MDLPに対応していない機器で演奏すると、曲タイトルの先頭に“ LP： ”が表示され、無音で再生されます。
- 4倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、標準時間録音または2倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

お願い

- 演奏中、一時停止中、または CD を入れて CD ふたを閉めた直後に、CD ふたを開けないでください。
  CD がターンテーブルから外れて、CD に傷が付く恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CD ふたを開けてください。

● はじめて MD を使用する場合は、46ページ「MD について」をお読みください。

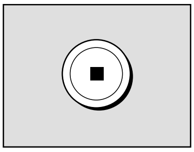
操作の前に

● POWER⏻/I を押して電源を入れる。
●録音用MDを入れる。（⇨ 12ページ）
●CDを入れる。（⇨ 10ページ）

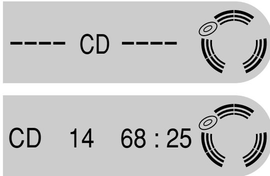
CDをMDに録音する

使いかた

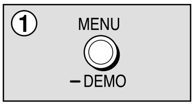
1



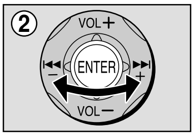
押して
CD に切り換える



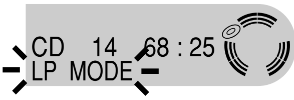
2

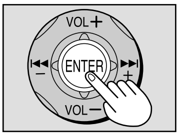


押す

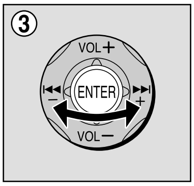


動かして **“ LP MODE ”を選び**



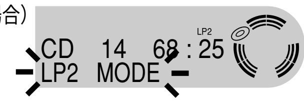


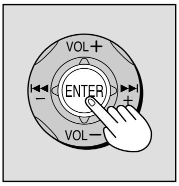
押す



動かして **モードを選び**

（2倍長時間録音の場合）

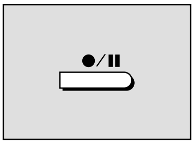




押す

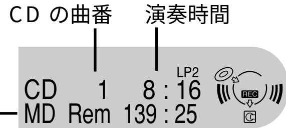
LP MODE OFF：標準時間録音モード［MDケースの表示時間と同じ録音が可能］
↕
LP2 MODE：2倍長時間録音モード［MDケースの表示時間の2倍録音が可能］
↕
LP4 MODE：4倍長時間録音モード［MDケースの表示時間の4倍録音が可能］

3

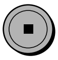


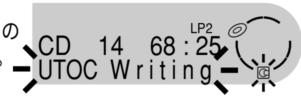
押す

CD の演奏と MD への録音が同時に始まり、録音が終わると停止します。



■録音を止めるには

⇨  **押す** “ UTOC Writing ”の点滅後、録音停止。



■一時停止するには

⇨ **押す**

（録音時間とMDの残り時間および“ REC ”が点滅）

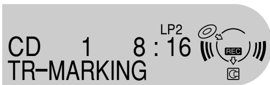
録音に戻るには、もう一度押す。
● 一時停止すると、録音された音がとぎれます。
● 一時停止すると、トラックマークが1つ付きます。

■好みの位置にトラックマークを付けるには リモコンのみ

録音しながら、トラックマークを付けたい位置で

⇨

押す



● トラックマークとは、録音部分に記録される「区切り」のことです。（⇨ 46ページ）
● トラックマークを消すには、録音終了後、前後の2曲を1曲にまとめます。（⇨ 29ページ）

■CD を MD に高速で録音するには（⇨ 24ページ）

お知らせ

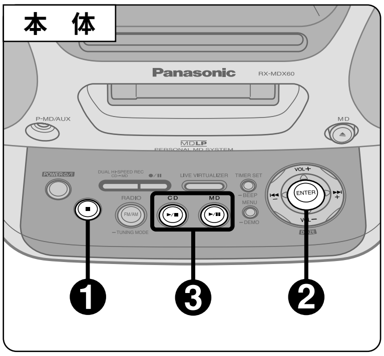
・録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
・MD の誤消去防止つまみが開いていると録音できません。
・本機でモノラル長時間録音はできません。

ＣＤ／ＭＤ の聞きかた

操作の前に
電源を入れてから CD 、MD を本体に入れる。

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

本　体



選んだ曲から最後の曲までを演奏した後、停止します。

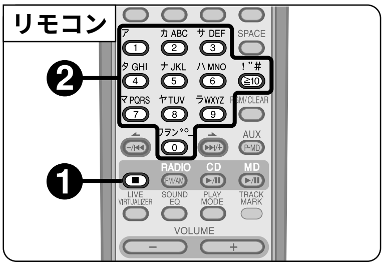
❶ [■] 押して、**CD** または **MD に切り換える**

❷ [ENTER] 動かして、**曲番を選ぶ**

CD　8　1 : 54
選んだ曲から演奏が始ります。
（演奏中に選ぶこともできます）

❸ CD [►/II] または MD [►/II] **押す**

リモコン



❶ [■] 押して、**CD** または **MD に切り換える**

❷ **数字ボタンを押して、曲番を選ぶ**

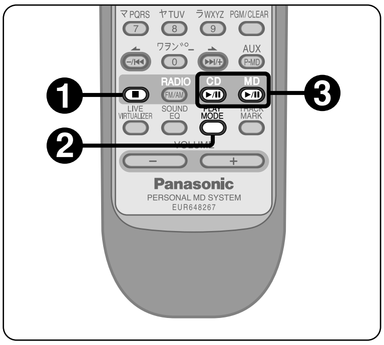
CD　8　1 : 54
選んだ曲から演奏が始まります。
（演奏中に選ぶこともできます）

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには

（例） ●10～99
曲番10：[≧10]→[1]→[0]
曲番25：[≧10]→[2]→[5]

●100～（MD のみ）
曲番100：[≧10]→[≧10]→[1]→[0]→[0]
曲番235：[≧10]→[≧10]→[2]→[3]→[5]

順不同に聞く（ランダムプレイ）



各曲を1曲ずつ順不同に演奏した後、停止します。

❶ [■] 押して、**CD** または **MD に切り換える**

❷ **停止中に** [PLAY MODE] 押して、**“ RANDOM ”を選ぶ**

押すたびに
1-⟲ ──→ ⟲ ──→ **RANDOM**
消灯 ←─（⟲ GROUP）←─（GROUP）
（OFF）
グループ化した MD のみ

RANDOM
CD　8　1 : 54
RANDOM

❸ CD [►/II] または MD [►/II] **押す**

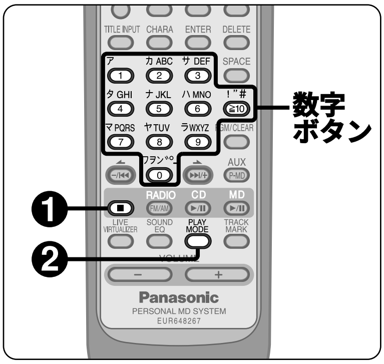
■解除するには
停止中に［**PLAY MODE**］を押して、“ RANDOM ”表示を消す。
●ディスクを取り出した場合も解除されます。

お知らせ
• スキップで前の曲には戻りません。
• サーチは、演奏中の曲内のみです。
• プログラムプレイと同時にはできません。

本体で聞くには
① [■] を押して、CD または MD に切り換える
② **停止中に ［ MENU － DEMO ］** を押す
③ ［**－ I◄◄**］ または ［**►►I ＋**］ に動かして “ PLAY MODE ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す
④ ［**－ I◄◄**］ または ［**►►I ＋**］ に動かして “ RANDOM ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す
⑤ ［**►/II CD**］ または ［**►/II MD**］ を押す

■本体で解除するには： 上記手順①～③の後、手順④で “ OFF ” を選び、［**ENTER**］ を押す

繰り返し聞く（リピートプレイ） 1曲リピート、全曲リピート



1 [■] 押して、**CD** または **MD** に切り換える

2 **演奏前**または**演奏中**に [PLAY MODE] **押して、1-⭯ または ⭯ を選ぶ**

押すたびに
1-⭯（1曲）→ ⭯（全曲）→ (RANDOM) → (GROUP) → (⭯ GROUP) → 消灯（OFF）→ 1-⭯（1曲）

(GROUP)、(⭯ GROUP)：グループ化した MD のみ
(RANDOM)：演奏中は選べません

1-⭯
CD 8 1:54
TRACK REPEAT

演奏前のときは
- 1曲リピート：数字ボタンを押して、曲番を選ぶ
- 全曲リピート：[CD ▶/II] または [MD ▶/II] を押す

■解除するには

［ **PLAY MODE** ］を押して、“ 1-⭯ ”“ ⭯ ”を消す。
- ディスクを取り出した場合も解除されます。

■好みの数曲を繰り返すには

① プログラムプレイで演奏を始める（➪ 下欄参照）
② ［ **PLAY MODE** ］を押して、“ ⭯ ”を選ぶ

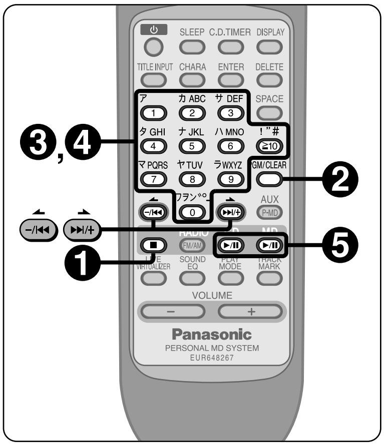
本体で聞くには

① ［ ■ ］を押して、CD または MD に切り換える
② **演奏前または演奏中に ［ MENU − DEMO ］を押す**
③ **[− I◀◀]** または **[▶▶I +]** に動かして
“ PLAY MODE ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す
④ **[− I◀◀]** または **[▶▶I +]** に動かして
“ TRACK REPEAT ”または“ ALL REPEAT ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す

演奏前のときは
- 一曲リピート： **[− I◀◀]** または **[▶▶I +]** に動かして曲番を選び［ **▶/II CD** ］または［ **▶/II MD** ］を押す
- 全曲リピート： ［ **▶/II CD** ］または［ **▶/II MD** ］を押す

■本体で解除するには：上記手順①～③の後、手順④で“ OFF ”を選び、［ **ENTER** ］ を押す

予約して聞く（プログラムプレイ） リモコンのみ



好みの曲を好みの順に演奏します。最大24曲まで予約できます。

1 [■] 押して、**CD** または **MD** に切り換える

表示
PGM
CD 10 3:27
PROGRAM

2 停止中に [PGM/CLEAR] **押す**

3 **数字ボタンを押して、曲番を選ぶ**

曲番 演奏順
PGM
CD 8 --01
PROGRAM

4 **数字ボタンを押して、続きの曲番を選ぶ**
（最大24曲まで）

PGM
CD 8 1:54
PROGRAM
合計演奏時間

5 [CD ▶/II] または [MD ▶/II] **押す**

■解除するには

停止中に、リモコンの ［ **PGM/CLEAR** ］ を押す。
“ PGM CLEAR ”が表示され、予約内容も取り消されます。
- ディスクを取り出した場合も解除されます。
- CD の場合は、停電、電源プラグを外した場合も解除されます。

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには

（例）
- 10～99
  曲番25： [≧10] → [2] → [5]
- 100～（MD のみ）
  曲番235： [≧10] → [≧10] → [2] → [3] → [5]

お知らせ

CD のサーチは、演奏中の曲内のみです。

■予約を確認するには

停止中に、［ –/I◀◀ ］または［ ▶▶I/+ ］を押すごとに、曲番と予約順が順次表示されます。

■予約を追加するには

停止中の“ PROGRAM ”表示のときに、リモコンの数字ボタンで曲番を選ぶ。

■予約の途中で

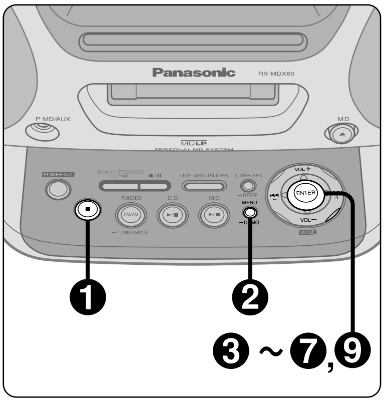
- **“ PROGRAM FULL ”と表示されたら**
  これ以上の予約はできません。
- **“ - - : - - ”と表示されたら**
  予約曲の合計が250 分を超えたことを示しています。予約は引き続き行えます。

グループで聞く（MD のみ）

操作の前に
電源を入れてから MD を本体に入れる。

MDLP の長時間モード（LP2/LP4）を使用すると、1枚の MD に多数の曲を録音することが可能です。
本機ではこれらの曲を好みのひとかたまりのグループとして管理することができます。
グループは最大99個までつくれます。（UTOC エリアの空き状況により異なります）

曲をグループにまとめる



例）トラック3から5までをひとつのグループにする

❶ [■] 押して、**MD に切り換える**

❷ [MENU –DEMO] **押す**

❸ 動かして、**“ EDIT MODE ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❹ 動かして、**“ GROUP? ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
GROUP?

❺ 動かして、**“ GROUP SET? ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
GROUP SET?

GROUP
?~---

初めてグループにする MD の場合は“ GROUP SET? ” しか選べません。

❻ 動かして、**始めのトラック番号を選び** ▶ **押す**

GROUP 1SET
3?~---

GROUP 1SET
3 ~ 3?

❼ 動かして、**終わりのトラック番号を選び** ▶ **押す**

GROUP 1SET
3 ~ 5?

GP 1 TITLE
■

❽ **グループ名を入力する** リモコンのみ

（⇨ 32ページの手順 ❹ ）

❾ **押す**

UTOC Writing

“ UTOC Writing ” の点滅後、グループ編集が完了します。

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲（例：1曲目～10曲目）のみです。
  曲が離れている場合（例：3曲目と7曲目と9曲目）はグループにできません。
- 1曲だけでもグループにできます。
- 1曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は作成した順ではなく、曲番の小さい順になります。
- 本機でグループを作った MD を、さらに、グループ機能未対応の機種で編集操作を行った場合、グループ管理情報が使えなくなる可能性があります。
- 本機でグループを作った MD を、グループ機能未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。
- 以下の場合は グループにまとめることはできません。解除してください。
  - MD が誤消去防止になっている場合。
  - MD をプログラム、ランダム、グループ演奏に設定している場合。
- CD まる録り（ ⇨25ページ）をすると、録音された全曲がひとつのグループになります。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。

■グループを解除するには

・ひとつのグループを解除するには

① 上記の手順❶～❹を行う
② ［– ◀◀］ または ［▶▶| +］ に動かして“ 1-RELEASE? ” を選び、**[ENTER]** を押す
③ ［– ◀◀］ または ［▶▶| +］ に動かして解除したいグループを選び、**[ENTER]** を押す
④ 再度、**[ENTER]** を押す
“ UTOC Writing ” が表示されます。

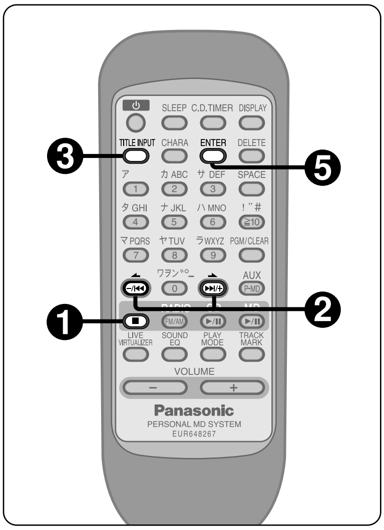
・全グループを解除するには

① 上記の手順❶～❹を行う
② ［– ◀◀］ または ［▶▶| +］ に動かして“ ALL RELEASE? ” を選び、**[ENTER]** を押す
③ 再度、**[ENTER]** を押す
“ UTOC Writing ” が表示されます。

■途中で止めるには

[■] を押す。

グループ名を変更する リモコンのみ



グループにタイトルを新たに付けたいときや、変更したいときに行ってください。

❶ [■] 押して、**MD に切り換える**

❷ [−/⏮] または [⏭/+]

押し続けて、**グループを選ぶ**

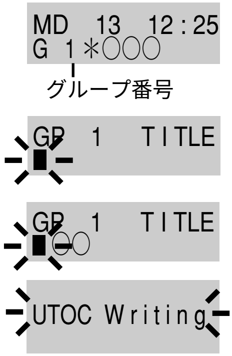
❸ [TITLE INPUT] **押す**

❹ **文字を入力**または**変更する**

（➪ 32、33ページ）

❺ [ENTER] **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、グループ編集が完了します。

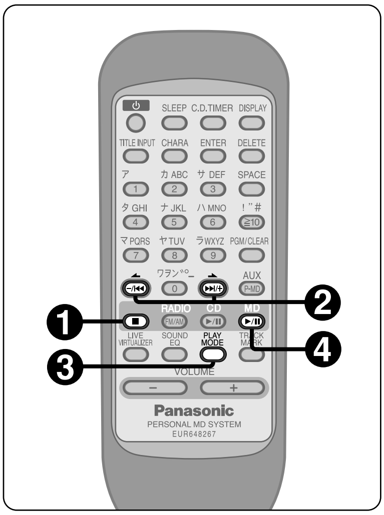


■途中で止めるには：［ ■ ］を押す。

お知らせ

プログラム、ランダム、1曲リピート、グループ演奏に設定していると、“ CAN NOT EDIT ”または“ ERROR ”表示されタイトル入力できません。解除してください。

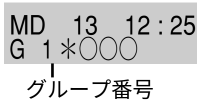
1 グループを聞く



❶ [■] 押して、**MD に切り換える**

❷ [−/⏮] または [⏭/+]

押し続けて、**グループを選ぶ**



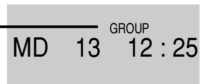
❸ **停止中に** [PLAY MODE] 押して、

"GROUP"を選ぶ

押すたびに

1-⭮ → ⭮ → RANDOM → **GROUP**

↑ 消灯 (OFF) ← ⭮ GROUP ←



❹ [MD ▶/II] **押す**

選んだグループを演奏し、終了すると停止します。

■解除するには

停止中に **［ PLAY MODE ］**を押して、“ GROUP ”を消す。

■1グループを繰り返し聞くには

上記の手順 ❶ 、 ❷ の後、 ❸ で “ ⭮ GROUP ”を選び ❹ の操作をする。

■本体で聞くには

① ［ ■ ］ を押して、MD に切り換える
② ［− ⏮］ または ［⏭ ＋］ に動かし、そのまま押さえてグループを選ぶ
③ ［ **MENU** − **DEMO**］ を押す
④ ［− ⏮］ または ［⏭ ＋］ に動かして “ PLAY MODE ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す
⑤ ［− ⏮］ または ［⏭ ＋］ に動かして “ GROUP ”または “ GROUP REPEAT ”を選び ［ **ENTER** ］ を押す
⑥ ［ ▶/II **MD** ］ を押す

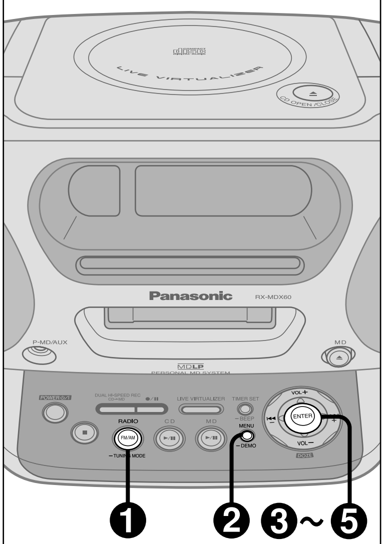
放送局を記憶させて聞く

操作の前に
アンテナの接続と調整をする。

記憶させる

●チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
● FM、AM とも12局ずつ記憶できます。

お住まいの地域を指定する（エリアバンク）



エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM 放送局を一度で記憶できます。

❶

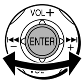
押す

FM または AM、どちらになっていても設定できます。

--- RADIO ---

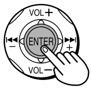
❷

押す

❸ 

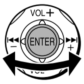
動かして、
“ AREA ”を選び

FM 76.0 MHz
AREA

▶ 

押す

PGM
>11 トウキョウケン

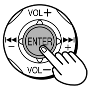
❹ 

動かして、**エリア番号を選ぶ**

（⇨ 下表参照）

（お住まいが札幌地域の場合）

PGM
> 1 サッポロ

❺ 

押す

放送局が記憶されます。

PGM
FM 80.4 MHz
AIR-G'

エリアに記憶されている最初の放送局名と周波数を表示。

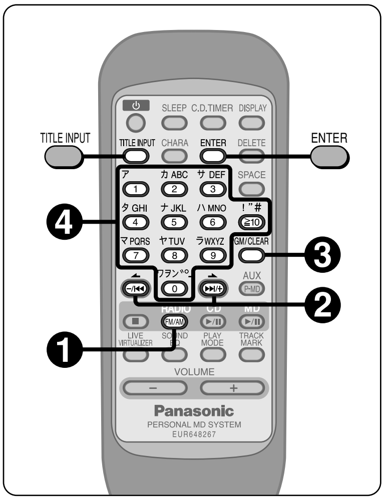
お知らせ

エリアバンクで放送局を記憶させた後は、自動的に“ PRESET MODE（プリセット モード）”（“ PGM ”が表示）になります。（⇨ 15ページ）

エリアバンク（放送局の内容は、2002 年 3 月現在のものです。）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	21	大津	31	松山
2	青森	12	甲府	22	奈良	32	高知
3	秋田	13	松本	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	14	静岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	25	鳥取	35	佐賀
6	仙台	16	津	26	松江	36	長崎
7	福島	17	新潟	27	広島	37	大分
8	宇都宮	18	富山	28	山口	38	熊本
9	水戸	19	金沢	29	高松／岡山	39	宮崎
10	前橋	20	福井	30	徳島	40	鹿児島
						41	那覇

好みのチャンネルを指定する（マニュアルメモリー） リモコンのみ



たとえば、エリアバンクで記憶したあとの空きチャンネルを埋めるときなどに行います。

❶ RADIO FM/AM 押して、
FM またはAM を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

F M 76.0 MHz

❷ −/⏮ または ⏭/+ **ポンポンと押して、**
好みの放送局を受信する

❸ PGM/CLEAR **押す**

PGM
F M 80.2 MHz
PROGRAM ch –

❹ **約10 秒以内に数字ボタンを押して、チャンネル番号を指定する**

PGM
F M 80.2 MHz
PROGRAM ch 7

お知らせ

FM をモノラル受信モード（⇨ 15ページ）で記憶させることはできません。

続けて入力する場合

❶～❹ の操作をくり返してください。

■数字ボタンで10以上の数字を選ぶには

（例） 10ch： ≧10 → 1 → 0
12ch： ≧10 → 1 → 2

■記憶させた放送局に名前を付けるには リモコンのみ

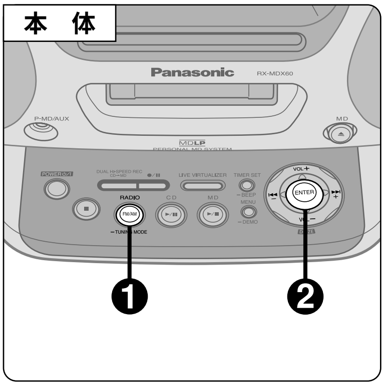
記憶させた FM、AM 各12局に名前が付けられます。
① チャンネルを選んで、記憶させた放送局を受信する
② ［ **TITLE INPUT** ］を押す
③ 名前を入力する（最大15文字）（⇨ 32ページの手順 ❹ ）
④ ［ **ENTER** ］を押す
• エリアバンクを変更すると記憶した名前は消えます。

聞 く

●簡単な操作で受信できます。

記憶させた放送局を聞く

本 体



❶ **PRESET MODE**（⇨ 15ページ）**時に**
RADIO FM/AM −TUNING MODE 押して、**FM** または
AM を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

F M 76.0 MHz

❷ 動かして、
チャンネルを選ぶ

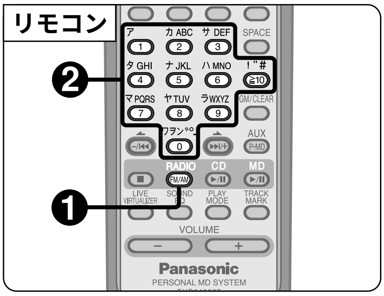
PGM
F M 80.2 MHz
ch 7

エリアバンクで記憶したり、名前を付けたチャンネルのときは放送局名も表示します。

お知らせ

“ MANUAL MODE ” の時は、設定したチャンネルを選べません。
“ PRESET MODE ” にしてください。（⇨ 15ページの手順**3**）

リモコン



❶ RADIO FM/AM 押して、
FM または **AM を選ぶ**

押すたびに FM ⇄ AM

F M 76.0 MHz

❷ **数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ**

PGM
F M 80.2 MHz
ch 7

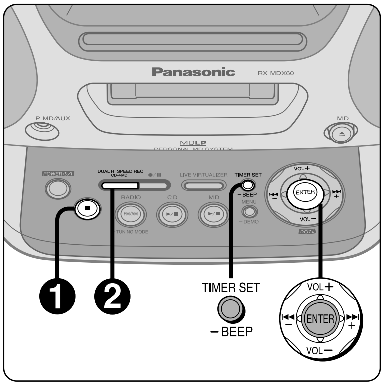
エリアバンクで記憶したり、名前を付けたチャンネルのときは放送局名も表示します。

いろいろな録音

操作の前に

●電源を入れてから録音用 MD を本体に入れる。
●必要に応じて MD の長時間録音（LP）モードを選ぶ。（⇨ 17ページ）

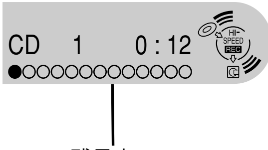
CD を MD に高速（最大4倍速）で録音する（CD 高速録音）



❶ CD を入れて［■］押して、
CD に切り換える

❷ DUAL HI-SPEED REC CD→MD **押す**

録音が始まり、全曲の録音が終了すると停止します。
確認音（ビープトーン）が約10秒間鳴ります。

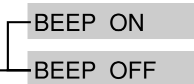


残量表示
（録音終了時にすべてが表示されます）

■録音を止めるには
［■］を押す。
■録音終了の確認音を止めるには：確認音が鳴っているときに［**ENTER**］などを押す。

お知らせ

・録音終了時の確認音の音量は調節できません。
　入／切は CD モード時に **[TIMER SET − BEEP]** を押し続けて切り換えます。



・CD から MD に、デジタル信号のまま録音されます。
・ラジオ、[P-MD/AUX] 端子に接続した外部機器など、本機の CD 以外からの高速録音はできません。
・高速録音中の音をモニターすることはできません。音量を調節すると “ MUTING ” を表示します。
・高速録音中に一時停止はできません。
・CD によっては録音時間に誤差の生じる場合があります。

■高速録音のできるモード

通常の録音（⇨16ページ）	○
CD まる録り	○
CD 1曲ねらい録り	○
CD アナログ録音	×
おっかけ録音	×
プログラム録音	×
リピート設定時の録音	×
ランダム設定時の録音	×

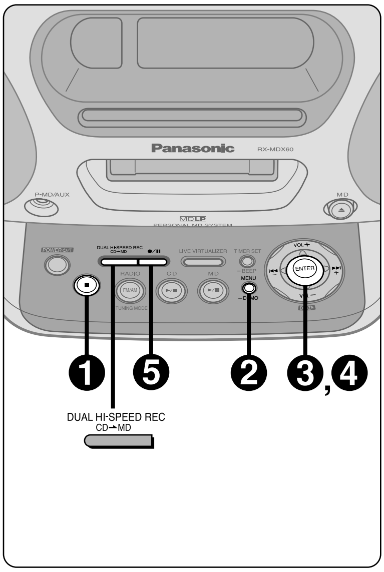
CD を MD に高速録音するときの制限
著作権保護などのために、次のような制限があります。

・高速録音終了後、約74 分間は、同じ CD からの高速録音はできません。
・高速録音を途中で止めた後、約74 分間は、同じ CD からの高速録音はできません。
・1枚目の CD を高速録音した後、約74 分以内に、それぞれ異なる24枚の CD を高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
・メモリーをリセット（初期化）（⇨ 51ページ）すると、約74 分間は、高速録音できません。
・高速録音中は、好みの位置にトラックマークを付けることはできません。

■ “ PLEASE WAIT ○○ min. ” と表示されたら
○○分、お待ちください。（⇨ 上記参照）
■ “ HIGH—SPEED CAN NOT REC ” と表示されたら
プログラム、リピート、ランダムなどの高速録音はできません。左表の○印の方法で録音してください。

お願い
・録音中、または CD を入れて CD ふたを閉めた直後に、CD ふたを開けないでください。
　CD がターンテーブルから外れ、CD に傷が付く恐れがあります。

CD の全曲を自動で録音する（CD まる録り：オート CD 録音）



❶ CD を入れて [■] 押して、**CD に切り換える**

---- CD ----

❷ MENU –DEMO **押す**

❸ 動かして、**“REC MODE”を選び** ▶ **押す**

CD 14 68 : 25
REC MODE

❹ 動かして、**“AUTO REC?”を選び** ▶ **押す**

CD 14 68 : 25
AUTO REC?

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番表示と録音曲数（繰り返し）を表示。
- 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの ［**DISPLAY**］ を押してください。

AUTO
CD 14 68 : 25
ゼンキョクRECカノウ

❺ ●/II **押す**（高速録音するときは DUAL HI-SPEED REC CD→MD 押す）

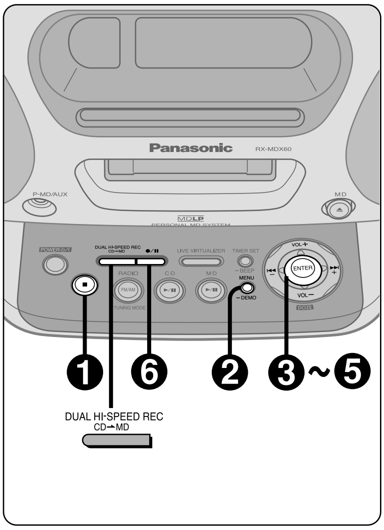
録音が始まり、終了すると停止します。

■録音を止めるには： ［ ■ ］ を押す。

お知らせ

- オート CD 録音中は、録音を一時停止できません。また、MD の好みの位置にトラックマークを付けることもできません。
- MD にオート CD 録音をすると、録音された全曲がひとつのグループになります。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- CD タイトルを記憶してある場合は、MD にオート CD 録音をすると、CD タイトルを MD のグループタイトルとして記録します。
- CD によっては録音時間に誤差の生じる場合があります。

CD の好みの1曲を録音する（CD 1曲ねらい録り）



❶ CD を入れて [■] 押して、**CD に切り換える**

---- CD ----

❷ MENU –DEMO **押す**

❸ 動かして、**“REC MODE”を選び** ▶ **押す**

CD 14 68 : 25
REC MODE

❹ 動かして、**“1-REC?”を選び** ▶ **押す**

CD 14 68 : 25
1–REC?

❺ 動かして、**曲番を選ぶ**

1-REC
CD 8 1 : 54
曲番

❻ ●/II **押す**（高速録音するときは DUAL HI-SPEED REC CD→MD 押す）

録音が始まり、終了すると停止します。

■録音を止めるには： ［ ■ ］ を押す。

■演奏中の CD 1曲をおっかけ録音するには

① 上記手順の ❶～❹ を行う

② CD を演奏し、演奏中に[●/II]を押す

演奏中の曲を頭から1曲録音し、自動的に停止します。

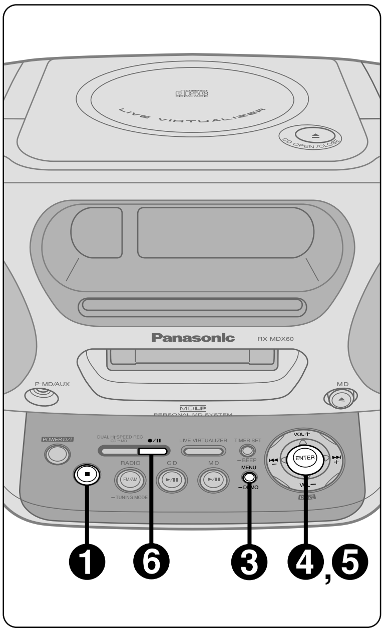
■演奏中の CD をおっかけ録音するには

① 演奏中に[●/II]を押す

演奏中の曲を頭から最後の曲まで録音し、自動的に停止します。

操作の前に
●電源を入れてから MDを本体に入れる。
●必要に応じて MD の長時間録音（LP）モードを選ぶ。（⇨ 17ページ）

CD の好みの数曲を録音する（CD プログラム録音）



❶ CD を入れて [■] 押して、**CD に切り換える**

---- CD ----

❷ **CD の曲をプログラムする**
（⇨ 19ページ「プログラムプレイ」の❷〜❹）

❸ MENU −DEMO **押す**

❹ 動かして、**“ REC MODE ” を選び** ▶ **押す**

CD PGM 68 : 25
REC MODE

❺ 動かして、**“ AUTO REC? ” を選び** ▶ **押す**

CD PGM 68 : 25
AUTO REC?

AUTO PGM
CD PGM 68 : 25
ゼンキョクRECカノウ

● MD に全曲入らないときは、録音できない曲番表示と録音曲数（繰り返し）を表示。
● 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの ［ **DISPLAY** ］ を押してください。

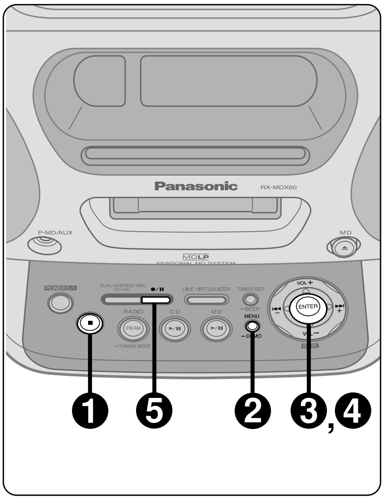
❻ ●/II **押す**
録音が始まり、終了すると停止します。

■録音を止めるには： ［ ■ ］ を押す。

お知らせ
・プログラム録音では曲と曲の空きが少し多くなります。従って、MD で “ ゼンキョクREC カノウ ” と表示されても、MD の残り時間が少ない場合は全曲録音できないことがあります。

アナログ信号に変換して録音する（CD アナログ録音）

CD から MD への録音は、通常デジタル信号のまま録音されます。しかし、コピー禁止が設定された CD の場合はデジタル信号のまま録音できません。（“ SCMS　CAN NOT COPY ” が表示されます。）
このような場合には、CD の信号をアナログに変換して MD に録音できます。



❶ CD を入れて [■] 押して、**CD に切り換える**

---- CD ----

❷ MENU −DEMO **押す**

❸ 動かして、**“ ANALOG - REC? ”を選び** ▶ **押す**

CD 14 68 : 25
ANALOG-REC

❹ 動かして、**“ ANALOG REC? ” を選び** ▶ **押す**

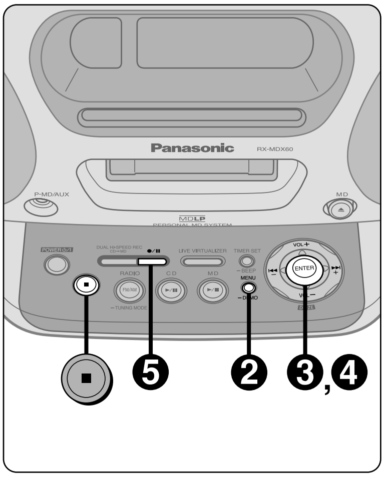
CD 14 68 : 25
ANALOG REC?

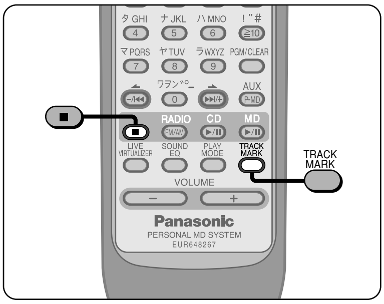
❺ ●/II **押す**
録音が始まり、終了すると停止します。

■録音を止めるには： ［ ■ ］ を押す。

お知らせ
・CD アナログ録音のときは高速で録音することはできません。
・アナログ録音終了後は、自動的にデジタル録音モードに戻ります。

ラジオを録音する





1 ラジオ（またはテレビ）放送を受信する（⇨14、23ページ）

F M 80.2 MHz

● **録音モードを変更しない場合は手順5へ**

録音モードを変更する場合は

2 MENU −DEMO **押す**

3 動かして、**“REC MODE”を選び** ▶ **押す**

F M 80.2 MHz
REC MODE

4 動かして、**録音モードを選び** ▶ **押す**

F M 80.2 MHz
MANUAL?

MANUAL?（マニュアル）	：	普通に録音するとき
TURN BACK?（ターンバック）	：	数秒前の音から録音するとき（音声データを本機に蓄えます）
TIME MARK?（タイムマーク）	：	5 分おきに自動でトラックマークを付けるとき
TURN/TIME?	：	TURN BACK＋TIME MARK

元の表示 — F M 80.2 MHz

5 ●/II **押す**

録音が始まります。（TURN BACK、TURN/TIME の時はもう一度押す）

F M 80.2 MHz
MD Rem 000:00

MDの残り時間を表します。

■録音を止めるには

［■］を押す。

■一時停止するには

［●/II］を押す。

録音に戻るには、もう一度押す。

• 一時停止すると、トラックマークが1つ付きます。

■好みの位置にトラックマークを付けるには リモコンのみ

録音中に、トラックマークを付けたい位置で［**TRACK MARK**］を押す。

お願い

• AM 放送を録音するときは AM ループアンテナと本体をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

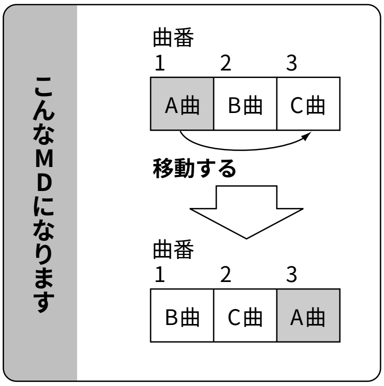
お知らせ

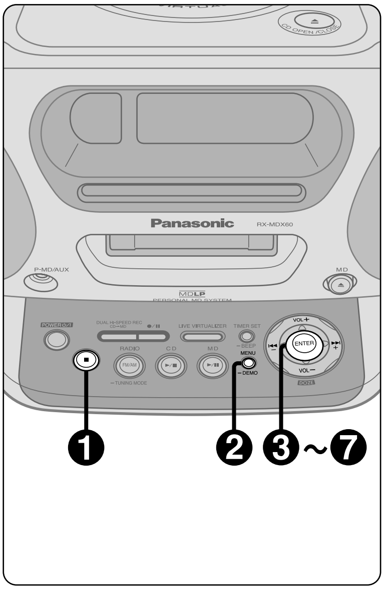
• エリアバンクで記憶させたり、名前を付けた放送局を録音すると、放送局名がトラックタイトル（⇨32ページ）として記録されます。
• 本機でモノラル長時間録音はできません。

ＭＤ を編集する

録音後に曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除して、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。（録音用 MD のみ）
グループにまとめた（⇨20ページ）MD を編集すると、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

曲を移動する（MOVE）





❶ MD を入れて ■ 押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

❷ MENU －DEMO **押す**

❸ 動かして、**“ EDIT MODE ”を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❹ 動かして、**“ MOVE? ”を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
MOVE?

MD 14 68 : 25
–?→---

❺ 動かして、**移動する曲番を選び** ▶ **押す**

移動する曲番
MD 1 1 : 54
1?→---

MD 1 1 : 54
1 → –?

❻ 動かして、**移動先を選び** ▶ **押す**

移動先（例：曲番 3 へ移動する場合）

MD 3 2 : 25
1 → 3?

MD 3 2 : 25
1 → 3 ?

MD 3 2 : 25
PUSH ENTER

❼ **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了します。

■編集を止めるには

［■］または［ MENU － DEMO ］を押す。

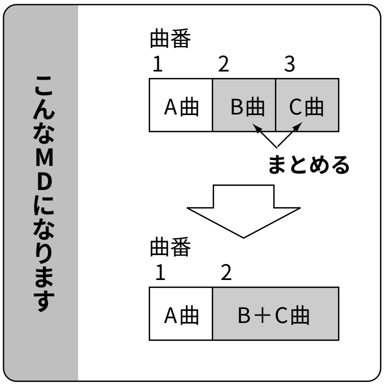
■演奏中（または一時停止中）に行うには

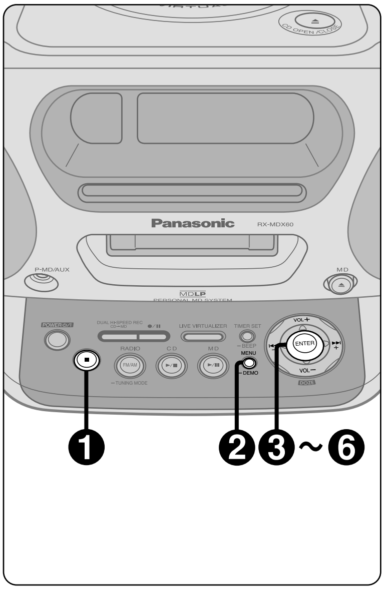
① 移動したい曲を演奏する（または一時停止する）
② 上記手順の ❷～❹、❻、❼ を行う

お知らせ

• 以下の場合は MD の編集（MOVE、COMBINE、DIVIDE、TRACK ERASE、ALL ERASE、GROUP）ができません。解除してください。
  ・MD が誤消去防止になっている場合。
  ・MD をプログラム、ランダム、グループ演奏に設定している場合。
• グループ管理している MD で曲を移動しようとすると “ GROUP DATA FULL ” の表示が出て、移動できない場合があります。その場合は、グループを1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

2曲を1曲にまとめる（$\overset{\text{コンバイン}}{\text{COMBINE}}$）





❶ MD を入れて［■］押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

❷ MENU −DEMO **押す**

❸ 動かして、**“ EDIT MODE ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❹ 動かして、**“ COMBINE? ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
COMBINE?

MD 14 68 : 25
---+ −?

❺ 動かして、**まとめようとする 2曲の曲番を選び** ▶ **押す**

MD 3 2 : 25
2+ 3?

MD 3 2 : 25
2+ 3?
前の曲番 うしろの曲番

MD 3 2 : 25
PUSH ENTER

❻ **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが、1つ消えます。）

■編集を止めるには

［■］または［MENU − DEMO］を押す。

■演奏中（または一時停止中）に行うには

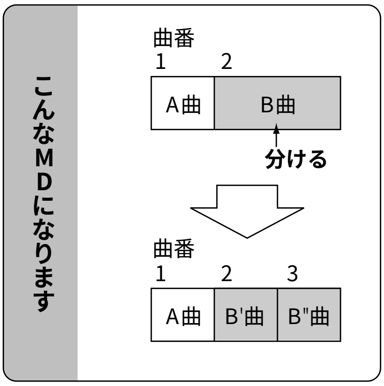
① まとめる後ろの曲を演奏する
② 上記手順の ❷～❹、❻ を行う

お知らせ

- 隣接した2 曲のみ、まとめることができます。
- 録音モード（標準／LP2／LP4／モノラル長時間）の異なる曲をつなげることはできません。
- タイトルが付いている2 曲をまとめると、前の曲のタイトルになります。
- LP4（4倍長時間録音）モードで録音した曲をまとめると、つないだ部分で左右チャンネル間に音漏れを生じる場合があります。

1曲を2曲に分ける（DIVIDE）

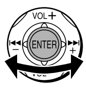
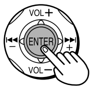
（DIVIDEのふりがな：ディバイド）

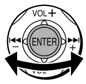
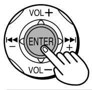


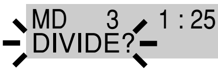
MD の演奏中に

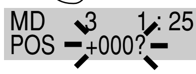
❶

押す

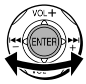
❷  動かして、
“ EDIT MODE ” を選び ▶  **押す**

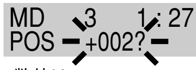
❸  動かして、**“ DIVIDE? ”を選び** ▶  **押す**
分けたいおよその位置で





分けた位置からの繰り返し演奏をします。
（標準：約4 秒間、LP2：約8 秒間、LP4：約16 秒間）

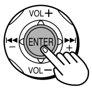
❹  動かして、
正確な位置を決める



● 数値は－128 ～＋127 の範囲で表示されます。

繰り返し演奏で、前の曲が入らなくなる位置を選ぶ。

調整範囲　標準 ：前後約8 秒間
　　　　　LP2：前後約16 秒間
　　　　　LP4：前後約32 秒間

❺  **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了します。

- 分けた位置にトラックマークが付きます。
- タイトルが付いている曲を分けると、あとの曲はタイトルなしになります。

■編集を止めるには

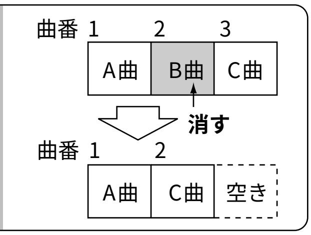
［ ■ ］または［ **MENU － DEMO**］を押す。

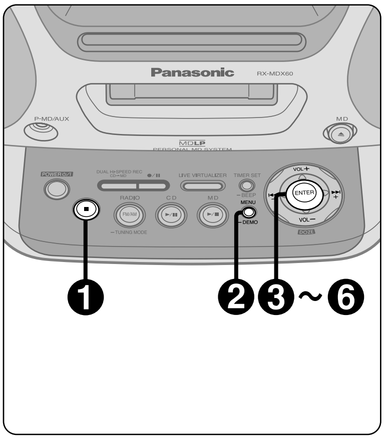
お知らせ

- LP4（4倍長時間録音）モードで録音した曲を2つに分けると、分けた部分で左右チャンネル間に音漏れを生じる場合があります。
- グループ管理している MD で 2 曲に分けようとすると “ GROUP DATA FULL ” の表示が出て、分けられない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

1曲または数曲を消す（TRACK ERASE）（トラック イレース）

こんなMDになります





❶ MD を入れて (■) 押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

❷ MENU －DEMO **押す**

❸ 動かして、**EDIT MODE ”を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❹ 動かして、**“ TRACK ERASE? ”を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
TRACK ERASE?

MD 14 68 : 25
ERASE ?

❺ 動かして、**消す曲番を選び** ▶ **押す**

MD 5 13 : 15
ERASE 5? ―― 消す曲番

MD 5 --01
ERASE 5 ?

MD 5 --01
PUSH ENTER

続けて入力する場合（最大24 曲まで）
❺の操作をくり返してください。

❻ **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了します。

■編集を止めるには

［ ■ ］または［ **MENU － DEMO**］を押す。

■演奏中（または一時停止中）に行うには

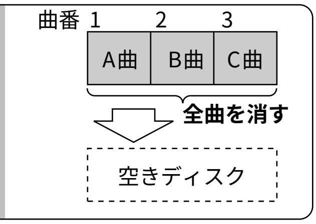
① 消したい曲を演奏する
② 上記手順の❷～❹、❻を行う

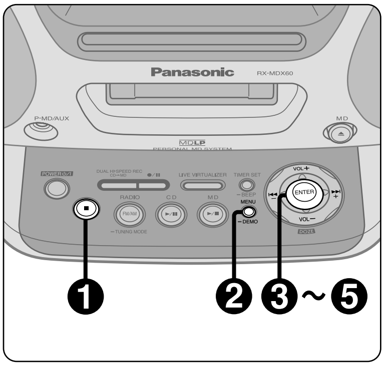
■消す曲番を確認するには

上記手順の❻を行う前に、リモコンの ［ ⏶–/⏮ ］［ ⏭/+⏶ ］を押す。（“ ERASE CHECK ”モード）

全曲を消す（ALL ERASE）（オール イレース）

こんなMDになります





❶ MD を入れて (■) 押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

❷ MENU －DEMO **押す**

❸ 動かして、**“ EDIT MODE ” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❹ 動かして、**“ ALL ERASE? ”を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
ALL ERASE?

MD 14 68 : 25
ALL ERASE?

MD 14 68 : 25
PUSH ENTER

❺ **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、
編集が完了します。

BLANK DISC
何も録音されていない
ことを意味しています。

■編集を止めるには

［ ■ ］または［ **MENU － DEMO**］を押す。

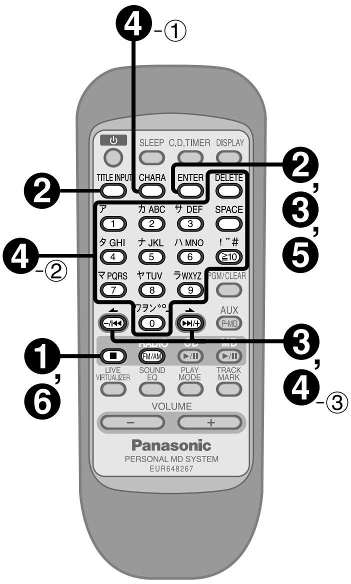
お知らせ

・演奏中に全曲を消すことはできません。

MD にタイトルを付ける

録音用 MD には、アルバム名（ディスクタイトル）やグループ名、曲名（トラックタイトル）をそれぞれ約100文字まで記録できます。（1枚の MD にはアルファベットで約1700文字、記録できます。）

録音済み MD にタイトルを入力する リモコンのみ



1 MD を入れて [■] 押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

2 [TITLE INPUT] 押して **“DISC?”、“GROUP?”** または **“TRACK?”を選び、** [ENTER] **押す**

DISC? TITLE

● “GROUP?” はグループにまとめた場合のみ選べます。

3 **グループ**または**トラックタイトルの場合、** [–/⏮] または [⏭/+] 押して**グループ**または**トラックを選び** [ENTER] **押す**

TR 3? TITLE

4 **文字を入力する** **文字入力画面** ■

① ［**CHARA**］を押して、文字の種類を選ぶ
カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→ 数字「1」

② 数字ボタンを押して、文字を選ぶ（空白は［**SPACE**］を押す）
- **カナ入力**………… 例えば［**ア、1**］を 押すごとに、
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ とかわります。
- **英大入力**………… 例えば［**カ ABC、2**］を 押すごとに、
A→B→C とかわります。
- **英小入力**………… 英大入力と同じ。
- **数字入力**………… ［**ア、1**］～［**ワヲン゛゜ー、0**］を押す。
- **記号入力**………… ［**! " #、≧10**］を押す。

入力できる文字の一覧表を参照してください。（⇨ 33ページ）

③ ［⏭/+］を押して、選んだ文字を確定する

5 [ENTER] **押す**

UTOC Writing

ディスクタイトルの場合は入力完了
グループまたはトラックタイトルの場合は、グループまたはトラックの選択待ちになります。

続けて入力する場合は上記手順の 3 ～ 5 の操作をくり返してください。

6 [■] 押して、**グループ**または**トラックタイトルの入力が完了**

■入力を止めるには
［■］を押す。
ただし、すでに［**ENTER**］を押して確定したタイトルは残ります。

■ MD の演奏、録音中にトラックタイトルをつけるには
（CD から MD への録音中の場合は⇨ 34ページ）
① リモコンの［**TITLE INPUT**］を押す
② 曲のタイトルを入力する
③［**ENTER**］を押す

お知らせ

- 演奏、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- プログラム、ランダム、1曲リピート、グループ演奏に設定している場合はタイトル入力できません。解除してください。
- 演奏中にタイトルを付けると、つづきの演奏中は MD の編集（DIVIDE、MOVE、COMBINE、TRACK ERASE）はできません。MD を停止させてから編集してください。
- 濁点や半濁点は、表記可能なカタカナのうしろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は、選択候補としても表れません。
- 文字と濁点・半濁点の間に空白などは挿入できません。

■入力済みの文字を変更するには

①**文字入力画面**にする（⇨ 32ページ手順の❶～❸）

②［◀◀–/I◀◀］、［▶▶I/+▶▶］で、変更する文字にカーソルを合わせる

そのあと、次の操作を行い、［ENTER］→［■］を押す

- **文字を訂正するには：**文字入力（⇨ 32ページ）で上書きする。
- **文字を削除するには：**［DELETE］を押す。
- **1文字あけるには：**［SPACE］を押す。
- **文字を挿入するには**
  ① 挿入する位置に［SPACE］を押して1文字あける
  ② 文字を入力する（⇨ 32ページ）

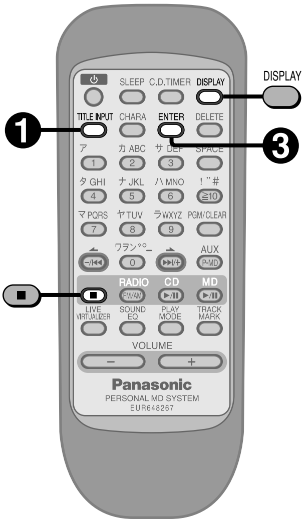
■入力できる文字一覧表

タイトル入力するときに参照してください。

種　類	文字・数字・記号
カタカナ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
	タ チ ツ テ ト ッ ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ
	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ゛ ゜ ー
英　大	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
英　小	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
数　字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
記　号	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， － ． ／ ： ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀

録音しながら、トラックタイトルをまとめて入力する リモコンのみ

CD からの録音中は、タイトルをまとめて入力できますので、録音中の待ち時間を有効に使えます。
録音中であれば、どの曲でもタイトル入力ができます。



MD の録音中に

❶ TITLE INPUT **押す**

❷ **文字を入力する**（⇨ 32ページ）

文字入力画面

❸ ENTER 押して、**確定する**

❹ **全曲の入力が終わるまで、❷、❸ の操作をくり返す**

● 入力しなくても、［ **ENTER** ］を押せば次の曲へ進みます。
● 最後の曲で［ **ENTER** ］を押すと、“ TITLE WRITE ” と表示した後、録音の画面に戻ります。

■入力を止めるには

［ ■ ］を押す。

■タイトルの追加、訂正をするには

- 録音中であれば：上記❶～❹を行ってください。
- 録音終了後であれば：録音済み MD のタイトル入力で行ってください。（⇨ 32ページ）

■タイトル入力中のトラック番号を確認するには

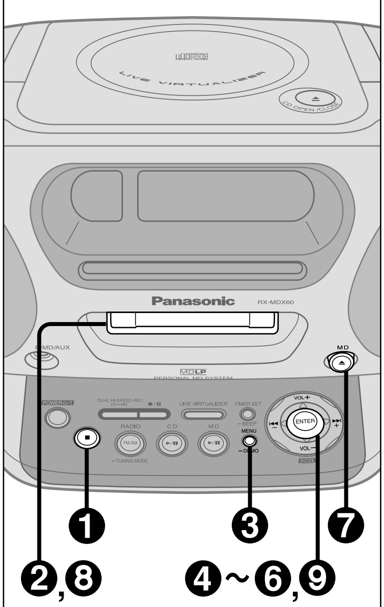
［ **DISPLAY** ］を押す。

お知らせ

- 入力したタイトルは 1曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- オート CD 録音時はグループタイトル→トラックタイトルの順に入力します。
- CD のランダム、リピート設定をしている場合は、まとめてタイトル入力できません。
  録音中の曲だけのタイトル入力になります。
- 録音中に一時停止やトラックマークを付けた後は、まとめてタイトル入力できません。
- まとめてタイトル入力中、入力後は一時停止やトラックマークを付けることはできません。

タイトルを他の MD にコピーする（タイトルステーション）

<u>同じ曲数を録音した</u> MD へ、全タイトルをコピーできます。



❶ MD を入れて [■] 押して、**MD に切り換える**

---- MD ----

❷ **タイトルの付いた MD（コピー元）を入れる**

❸ [MENU −DEMO] **押す**

❹ 動かして、**“EDIT MODE” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
EDIT MODE

❺ 動かして、**“TITLE ST.?” を選び** ▶ **押す**

MD 14 68 : 25
TITLE ST.?

MD 14 68 : 25
TITLE ST. ?

MD 14 68 : 25
PUSH ENTER

❻ **押す**
本機がタイトルを記憶すると、この表示になります。

MD 14 68 : 25
EJECT MD

❼ [MD ▲] 押して、**MD を取り出す**

MD NO DISC
INSERT MD

❽ **タイトルを付けたい MD（コピー先）を入れる**

MD 14 68 : 25
Writing OK?

MD 14 68 : 25
PUSH ENTER

❾ **押す**

“UTOC Writing” の点滅後、コピーが完了します。

■入力を止めるには

[■] を押す。

お知らせ

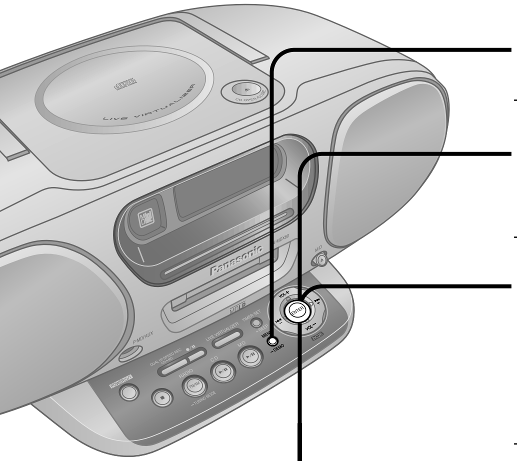
- 曲数が同じでなければコピーできません。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD 1枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- コピー先の MD に、すでにタイトルが付いている場合も、新しいタイトルに変わります。
- コピー元がグループ管理されている場合は、グループ情報もコピーされます。
- 演奏専用 MD のタイトルを、本機に記憶させることはできません。

タイマーを使う

おめざめタイマー（◴PLAY）

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
一度時刻を設定しておくと、あとはソース設定を変えるだけで、違うソースでおめざめできます。

タイマーを設定する前に
- 電源を入れる。
- 時計を合わせる。（⇨8ページ）
- CDまたはMDを入れる。



タイマー時刻設定　（24時間表示）

例）6:30〜7:40まで、好みのソースを演奏する場合

1 MENU −DEMO **押す**

2 動かして、**“TIME ADJUST”を選び** ▶ **押す**

TIME ADJUST

3 動かして、**“TIMER PLAY”を選び** ▶ **押す**

TIMER PLAY

◴PLAY
ON　　OFF
0:00 →→ 0:00

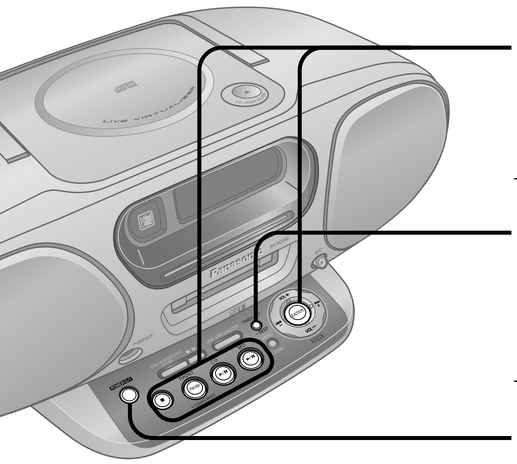
4 動かして、**約10秒以内に開始時刻を選び** ▶ **押す**

開始時刻 — ON　OFF　6:30 →→ 0:00

ON　OFF　6:30 →→ 6:30

5 動かして、**終了時刻を選び** ▶ **押す**

ON　OFF　6:30 →→ 7:40 — 終了時刻



ソース・音量・タイマー実行設定

6 RADIO（FM/AM −TUNING MODE）、CD、またはMD 押して、**ソースを演奏し**

動かして、**音量を調節する**
・**CD、MDのときは［■］を押して演奏を停止する**

7 TIMER SET −BEEP 押して、**“◴PLAY”を表示させる**

時刻設定をしていないタイマーは選べません。

押すたびに
→ ALARM → **◴PLAY** → ALARM ◴PLAY → ◴REC → 表示なし（OFF）→（ALARMに戻る）

◴PLAY
TIMER–PLAY
6:30 →→ 7:40

8 POWER ⏻/I 押して、**電源を切る**
電源を切らないとタイマーが動作しません。

予約した時刻になると
電源が入り、演奏が始まります。（動作中は“◴PLAY”が点滅）
音量は手順❻で設定した大きさまで、徐々に大きくなります。

■おめざめタイマーを解除するには
電源「入」のときに［**TIMER SET － BEEP**］を押して、“ TIMER-OFF ” を選び “ ◴PLAY ” 表示を消す。
動作させるには、もう一度 “ ◴PLAY ” を表示させる。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます
操作後は、必ず電源を切ってください。
電源が入っている場合はタイマーが動作しません。

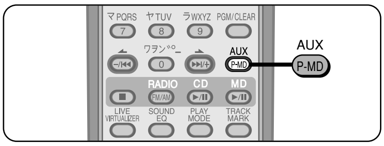
■設定内容を確認するには
電源「切」のときに［**TIMER SET － BEEP**］を押す。

■設定内容を変えるには

時刻を変えるとき
電源を入れ、手順 ❶ ～ ❺ 、 ❽ を行う。

ソースを変えるとき
電源を入れ、［**TIMER SET － BEEP**］を押して “ TIMER-OFF ” を表示させ、そのあと手順 ❻ ～ ❽ を行う。

■外部機器を使ったタイマー設定
リモコンの［**P-MD/AUX**］をポンと押して、本機のソースを “ AUX ” にした後、接続した外部機器を、本機と同時刻に動作するように設定してください。

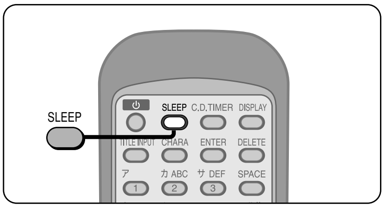


お知らせ

- おめざめタイマーは留守録タイマーと同時に設定できません。
- アラームタイマー（➪ 40ページ）と同時に設定するときは手順 ❼ で “ ALARM ◴PLAY ” を選びます。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマー （SLEEP） リモコンのみ

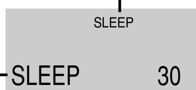
好みの時刻がくると、ソースの演奏を停止し、電源が切れます。



ソースを聞きながら

SLEEP　押して、**演奏時間（分）を選ぶ**

タイマー動作中は表示



押すたびに（単位：分）
SLEEP 30 → SLEEP 60 → SLEEP 90
↑ SLEEP OFF ← SLEEP 120 ↵

■おやすみタイマーを解除するには
［ **SLEEP** ］を押して “ SLEEP OFF ” に設定する。

■残り時間を確認するには
［ **SLEEP** ］を一度だけ押す。
残り時間が約5 秒間表示されます。

■設定時間を変えるには
［ **SLEEP** ］を押して、好みの時間（分）に設定する。

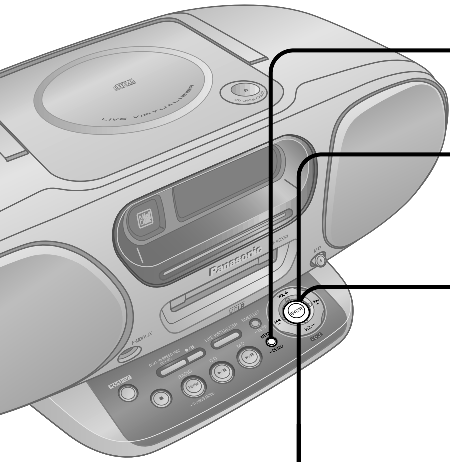
お知らせ

- おやすみタイマーはカウントダウンタイマーが設定（➪ 39ページ）されていると、使えません。
- オートオフ機能（➪ 42ページ）が ON のときは、おやすみタイマーよりも優先して働きます。

留守録タイマー（◴REC）

好みの時刻に電源が入り、好みの放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

タイマーを設定する前に
- 電源を入れる。
- 時計を合わせる。（➪8ページ）
- 録音用 MDを入れる。



タイマー時刻設定　（24時間表示）

例）18:30～19:20まで、好みの放送局を録音する場合

1 MENU －DEMO **押す**

2 動かして、**“ TIME ADJUST ”を選び** ▶ **押す**

TIME ADJUST

3 動かして、**“ TIMER REC ”を選び** ▶ **押す**

TIMER REC

◴REC ON OFF 0:00 ➝➝ 0:00

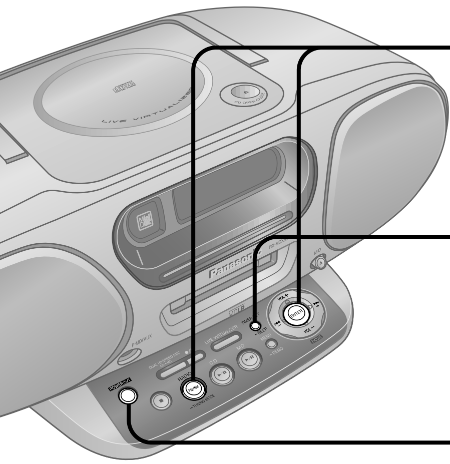
4 動かして、**約10秒以内に開始時刻を選び** ▶ **押す**

◴REC ON OFF 開始時刻 ― 18:30 ➝➝ 0:00

ON OFF 18:30 ➝➝ 18:30

5 動かして、**終了時刻を選び** ▶ **押す**

ON OFF 18:30 ➝➝ 19:20 ― 終了時刻



放送局・タイマー実行設定

6 RADIO FM/AM －TUNING MODE 押して、**放送局を受信し** ▶ 動かして、**音量を調節する**

F M 80.2 MHz

必要に応じて録音モード（➪27ページ）、長時間録音モード（➪17ページ）を設定してください。

7 TIMER SET －BEEP 押して、**“ ◴ REC ”を表示させる**

時刻設定をしていないタイマーは選べません。

押すたびに
➝ ALARM ➝ ◴PLAY ➝ ALARM ◴PLAY ➝ ◴REC ➝ 表示なし (OFF) ➝ ALARM

◴REC TIMER-REC MD REC

8 POWER ⏻/I 押して、**電源を切る**
電源を切らないとタイマーが動作しません。

予約した時刻の約30 秒前になると
電源が入り、自動的に録音が始まります。（動作中は“ ◴REC ”が点滅）
音量は手順 ❻ で設定した大きさまで、徐々に大きくなります。
録音される音には影響ありません。

■留守録タイマーを解除するには
電源「入」のときに［**TIMER SET － BEEP**］を押して、“ TIMER-OFF ” を選び “ ◷REC ” 表示を消す。
動作させるには、もう一度“ ◷REC ”を表示させる。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます
操作後は、録音用 MDを入れて、必ず電源を切ってください。
電源が入っている場合はタイマーが動作しません。

■設定内容を確認するには
電源「切」のときに［**TIMER SET － BEEP**］を押す。

■設定内容を変えるには

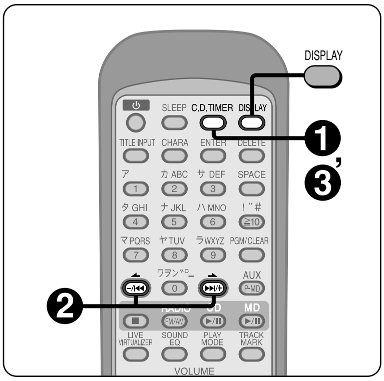
時刻を変えるとき
電源を入れ、手順 ❶ ～ ❺、 ❽ を行う。

ソースを変えるとき
電源を入れ、［**TIMER SET － BEEP**］を押して“ TIMER-OFF ” を表示させ、そのあと手順 ❻ ～ ❽ を行う。

お知らせ
- ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、手順 ❹ で設定した開始時刻から録音が始まります。
- 留守録タイマーは「おめざめタイマー」「アラームタイマー」と同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

カウントダウンタイマー （TIMER） リモコンのみ

好みの時間（約1分～120分）後にアラーム音を鳴らして、時間経過を知ることができます。



❶ C.D.TIMER **押す**

MD 14 68 : 25
TIMER 10 : 00

❷ −/⏮ または ⏭/+ 押して、
約10 秒以内に時間（分）を選ぶ

MD 14 68 : 25
TIMER 9 : 00
設定した時間（分）

❸ C.D.TIMER **押す**

カウントダウンが始まり、設定した時間（分）後になると
アラーム音が約10 秒間鳴ります。
音量は調整できません。

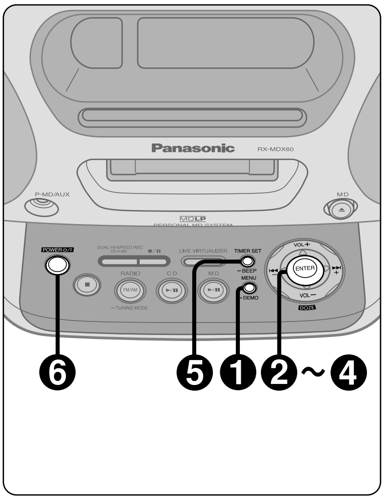
■アラーム音を止めるには
アラーム音が鳴っているときに［ **C.D.TIMER** ］などを押す。

■カウントダウンタイマーを解除するには
カウントダウン動作中に［ **C.D.TIMER** ］を押す。

お知らせ
- カウントダウンタイマーはおやすみタイマーが設定されていると、使えません。
- オートオフ（⇨ 42ページ）設定時はカウントダウンタイマーが優先し、カウントダウンタイマーが鳴った後、約10分でオートオフが働きます。
- カウントダウンタイマー動作時は、［ **DISPLAY** ］を押しても表示は切り換わりません。
- 電源を「切」にすると、カウントダウンタイマーは解除されます。
- 電源「切」時にカウントダウンタイマーは使えません。

アラームタイマー（ALARM）

好みの時刻にアラーム音を鳴らせます。



タイマーを設定する前に

- 電源を入れる
- 時計を合わせる（⇨8ページ）

タイマー時刻設定 （24時間表示）

例）6:45にアラーム音を鳴らす場合

❶ MENU −DEMO **押す**

❷ 動かして、**“TIME ADJUST”を選び** ▶ **押す**

TIME ADJUST

❸ 動かして、**“ALARM”を選び** ▶ **押す**

ALARM

ALARM
ALARM --:--

❹ 動かして、**約10秒以内に開始時刻を選び** ▶ **押す**

ALARM 6:45

開始時刻

タイマー実行設定

❺ TIMER SET −BEEP 押して、**“ALARM”を表示させる**

時刻設定をしていないタイマーは選べません。

押すたびに

ALARM → ◷PLAY → ALARM ◷PLAY → ◷REC → 表示なし (OFF) → ALARM

ALARM
ALARM 6:45

❻ 必要に応じて POWER ⏻/I 押して、**電源を切る**

予約した時刻になると

アラーム音が鳴ります。電源「切」時は照明が点灯し、停止または一時停止の操作をすると消灯します。

音量は調節できません。

停止、一時停止の操作をしないときは、約60 分間鳴り続けます。

■アラーム音を止めるには

アラームが鳴っているとき、または一時停止中に ［■］を押す。

■アラーム音を一時停止するには（DOZE ドーズ機能）

- アラームが鳴っているときに、［− ⏮］、［⏭ +］または［VOL −］、［VOL +］の方向に動かす。
- または［ENTER］を押す。
  約6分後に再度アラーム音が鳴ります。

■アラームタイマーを解除するには

電源を入れ、［TIMER SET − BEEP］を押して“TIMER-OFF”を選び“ALARM”表示を消す。

■設定内容を確認するには

電源「切」のときに［TIMER SET − BEEP］を押す。

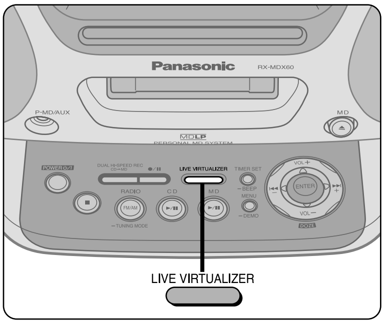
お知らせ

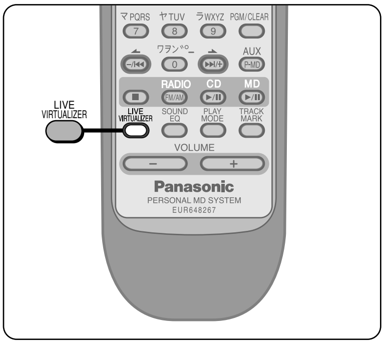
- アラームタイマーは留守録タイマーと同時に設定できません。
- おめざめタイマーと設定時刻が重なった場合や、演奏中の場合は、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- アラーム音が鳴っているときや一時停止中は“ALARM”が点滅します。 ALARM
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

便利な機能

音質、音場効果を選ぶ

好みの音質や音場効果を楽しめます。

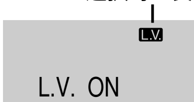




臨場感を高める　L.V.（ライブバーチャライザー）

LIVE VIRTUALIZER 押して
“ L.V. ON ” を選ぶ

選択時は表示



■リモコンで選ぶには

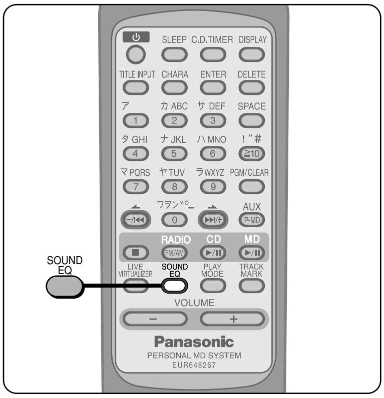
LIVE VIRTUALIZER 押して
“ L.V. ON ” を選ぶ

■設定を解除するには

もう一度［**LIVE VIRTUALIZER**］を押して、“ L.V. OFF ” を選び “ L.V. ” 表示を消す。

お知らせ

効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

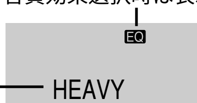


音質を切り換える　EQ（イコライザー）

リモコンのみ

SOUND EQ 押して、**音質を選ぶ**

音質効果選択時は表示

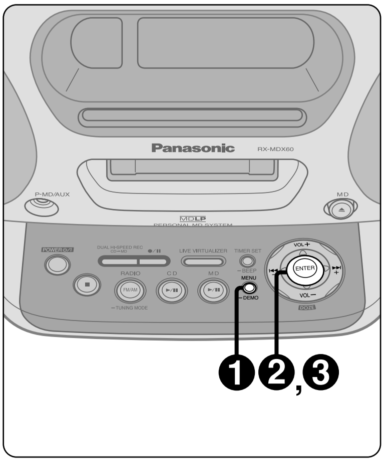


表示中、押すたびに
次のように切り換わります。

→**HEAVY**　：ロックなど、パンチを効かせるとき
↓
CLEAR　：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
↓
SOFT　：BGM として聞くとき
↓
VOCAL　：ボーカルにつやを出したいとき
↓
EQ OFF　：音質効果を使わないとき

オートオフ機能

演奏終了後などに、自動的に電源を切ります。



❶ MENU −DEMO 押す

❷ 動かして、“ **AUTO OFF MODE** ”を選び ▶ 押す

AUTO OFF MODE

❸ 動かして、“ **AUTO OFF - ON -** ”を選び ▶ 押す

AUTO OFF-ON-

演奏を止めた状態で約10 分間、操作をしないと自動的に電源「切」になります。

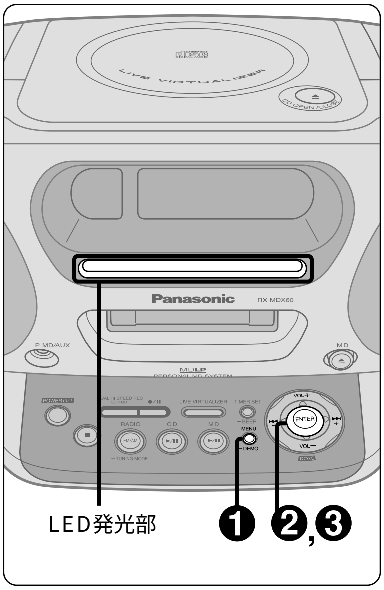
■**オートオフ機能を解除するには：**上記の手順 ❶ 、❷ を行い、 ❸ で “ AUTO OFF - OFF - ” に設定する。

お知らせ

- オートオフ機能は、MD 、CD の場合にのみ働きます。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に “ AUTO OFF ” を表示します。
- オートオフ機能はおやすみタイマー（⇨ 37ページ）よりも優先して働きます。
- オートオフ機能を ON にしても、カウントダウンタイマー（⇨ 39ページ）動作中はオートオフしません。カウントダウンタイマー終了後、約10分間操作をしないと電源「切」になります。

ライト機能

音の変化などによって、本機前面にあるLED発光部を光らせることができます。
お買い上げ時は “ LIGHT ON ” に設定されています。



ライト機能を解除するには

❶ MENU −DEMO 押す

❷ 動かして、“ **LIGHT MODE** ” を選び ▶ 押す

LIGHT MODE

❸ 動かして、**モードを選び** ▶ 押す

LIGHT OFF

LIGHT ON ：（演奏・録音時）
- **ライブバーチャライザー “ L.V. ON ” のとき**（⇨41ページ）
  音楽の変化に合わせてレベルメーターのように光ります。
- **ライブバーチャライザー “ L.V. OFF ” のとき**（⇨41ページ）
  音楽の変化に合わせてフラッシュのように光ります。

（その他の動作時）
サーチ、CD・MDの出し入れ、TOC読み込み、書き込み中では異なる光り方をします。

↕

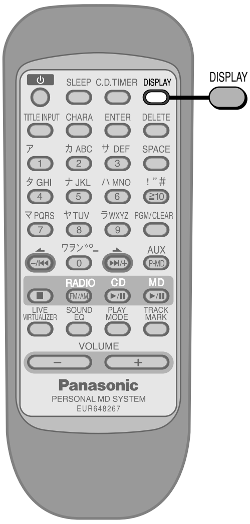
LIGHT OFF ：消灯

■**再度、ライト機能を動作させるには**

上記手順 ❶ 、❷ を行い、 ❸ で “ LIGHT ON ” に設定する。

時間やタイトルなどの情報を見る リモコンのみ

いろいろな情報が表示されます。



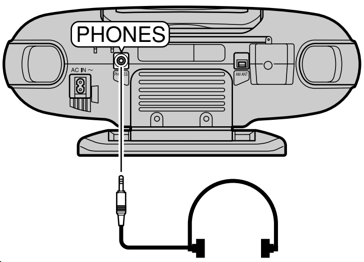
DISPLAY 押す

押すたびにいろいろな情報が表示されます。
表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

お知らせ

・MD の残り時間の表示（" MD Rem ○○○：○○ "）は、録音用 MD で誤消去防止つまみを閉じている場合に限ります。
・文字のスクロール表示は14文字以上の場合に限ります。
スクロール表示中に［ **DISPLAY** ］を押すと、他の表示に移ります。

ヘッドホン（別売り）で聞く



① 音量を下げる
② 本体後面の［PHONES］端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

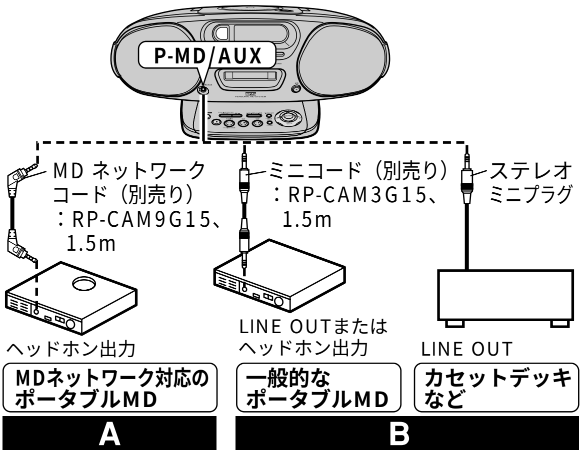
ヘッドホン

・プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
・推奨品：RP-HT530、RP-HT242（共に別売り）

別売の機器を使う

別売りの機器を接続する

● **電源を切ってから接続してください。**

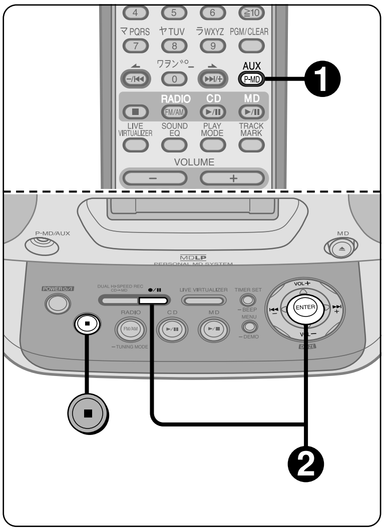


■アナログプレーヤーを接続するには
フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：
当社のアナログプレーヤーSL-J8（イコライザー内蔵）
- SL-J8 を本機に接続するには、別売りのピンミニコード（品番：RP-CAPM3G15）と、ピンプラグアダプター（品番：RP-PA66A）が必要です。
  本機の［P-MD/AUX］端子に接続します。
- フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを本機に接続するには、サービスルート扱いのフォノイコライザー（品番：RFKZ0088KIT）が必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。

A　MD ネットワーク機能で MD から MD に録音する

対応品

カタログにこのマークが付いている製品です。



MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーから本機の MD に録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（演奏専用 MD のタイトルはコピーできません。）

❶ AUX/P-MD ポンポンと押して **“P-MD”を選ぶ**

押すたびに AUX ：一般の外部機器
↕
P-MD：MDネットワーク対応の機器

P－MD　（18Tr）
ポータブル MD 側の総曲数（トラック）

● **必要に応じて MD の長時間録音（LP）モードを選びます。**（➪ 17ページ）

- 入力レベルは HIGH（固定）です。

❷ ● **全曲録音するとき**

●/II **押す**

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。
（曲間に数秒のブランクができます。）

● **1曲ずつ録音するとき**

動かして、
曲番を選ぶ

確認の意味で、選んだ曲が自動的に演奏されます。

↓

●/II **押す**

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1曲の録音が終わると、自動停止します。

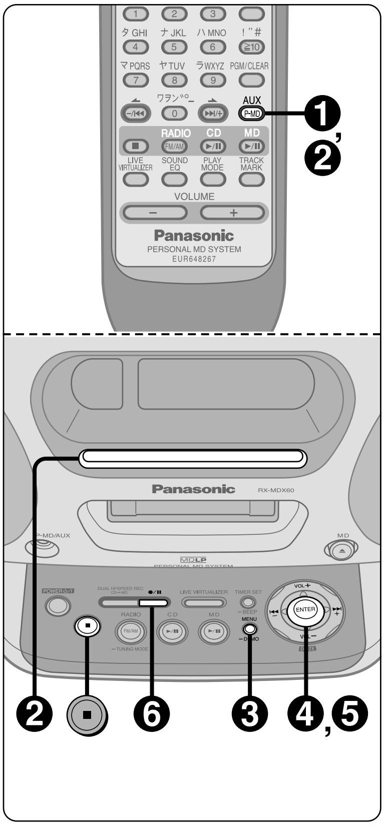
お願い
録音、再生中はネットワークコードを抜かないでください。

■録音を止めるには：［■］を押す。

■MD ネットワーク機能でビジュアル／タイトルプリンター（対応品：SH-CP30（別売り）**）を使うには**
MDに付いているタイトルを元にして、MD のラベルが印刷できます。
［P-MD/AUX］端子に接続して使います。詳しくはビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

お知らせ
- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使うこともできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、MD ネットワーク機能でもディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能でグループ名はコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約4 分後に自動的に電源「切」になります。（点滅表示になります。再び通信確立するには**［P-MD/AUX］**を押してください。）
- ソース（音源）によっては録音時間に誤差の生じる場合があります。

B　MD ネットワーク機能を使わずに、MD に録音する



❶ AUX/P-MD　ポンと押して、“ **AUX** ”を選ぶ

押すたびに AUX ←→ P-MD

❷ 録音レベルの確認

- ライブバーチャライザーが“ L.V. ON ”設定時（⇨ 41ページ）、外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器を演奏して、LED発光部の発光レベルが時々端まで点灯する程度に、外部機器の音量を調節してください。
- **必要に応じて、入力レベルを選びます。**

AUX/P-MD **を押し続けるたびに**

NORMAL：レベルを変えないとき
（信号レベルが通常の機器）
↕
HIGH　：レベルを上げたいとき
（ポータブル MD など信号レベルの低い機器）

❸ MENU（－DEMO）　**押す**

❹ 動かして、**“ REC MODE ”を選び** ▶ **押す**

REC MODE

❺ 動かして、**録音モード**（⇨ 下記）**を選び** ▶ **押す**

動かすたびに
→ MANUAL? ←→ SYNCHRO? ←→ TURN BACK?
↕
TURN/TIME? ←→ TIME MARK?

- **必要に応じて MD の長時間録音モードを選びます。**（⇨ 17ページ）

❻ ●/II **押す**

「SYNCHRO モード」のときは、一時停止状態になります。
外部機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。

お知らせ

「SYNCHRO モード」では音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合は「SYNCHRO モード」を使用せずに録音し、あとからディバイド機能（⇨ 30ページ）などで編集してください。
（「SYNCHRO モード」では好みの位置にトラックマークをつけることはできません。）

❼ 外部機器を演奏する

MD の録音モードについて

- **MANUAL（マニュアル）**
  トラックマークは記録されません。
- **SYNCHRO（シンクロ）**
  ソースから音が出ると、自動的に録音が始まります。また、約3 秒以上の無音部分があると、自動的に録音待機状態になり、そこにトラックマークが入ります。
- **TURN BACK（ターンバック）**
  頭切れしないように、数秒前の音から録音します。
- **TIME MARK（タイムマーク）**
  5分おきにトラックマークが自動記録されます。
- **TURN/TIME**
  TURN BACK（ターンバック）
  ＋
  TIME MARK（タイムマーク）

■録音を止めるには

［ ■ ］を押す。

お知らせ

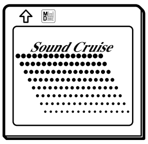
・ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差の生じる場合があります。

MD について

MD の種類

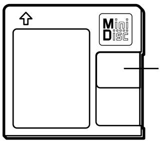
■演奏専用 MD

録音はできません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。



■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。



MD の録音・編集について

■テープとは違います

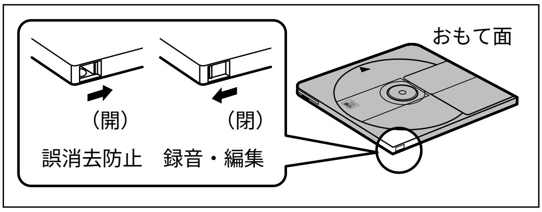
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、 ERASE 機能でいらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■MD 1 枚への録音曲数は 収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集を行うときは閉じてください。



■デジタル録音の制限について（SCMS）

デジタル録音（本機の CD → MD への録音）には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD へデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“ コピーのコピー ” の禁止）。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
“ UTOC Writing ” の点滅前に電源が切れると、録音、編集が記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。
“ UTOC Writing ” は通常の録音で約 10 秒、タイトル編集中で最大約 60 秒表示されます。

よく出てくる MD 用語

■TRACK MARK（トラック マーク）

録音部分に記録される「区切り」のことです。
ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。

■TOC（トック）(Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）(User Table of Contents)

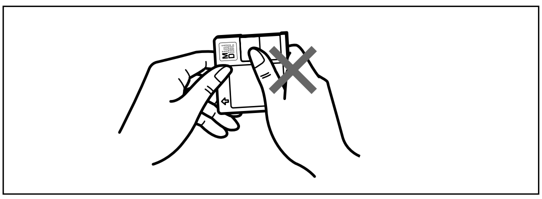
利用者が自由に書き換えられる TOC です。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“ UTOC Writing ” と表示され、注意を促します。

■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。
トラックマークを記録すると、その位置以降のトラック番号が1つ増えます。

取扱上のお願い

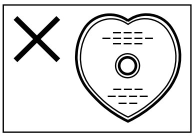
- 指定外の場所にラベルを貼らない。
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない。
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手をふれないでください。）



CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

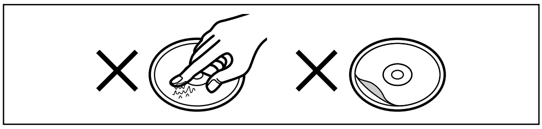
ただし、ハート形など特殊形状の CD はご使用にならないでください。
（機器の故障の原因になります）



■取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- **鉛筆やボールペンなどで字を書かない**
- **レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない**
  汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきをしてください。
  クリーニングクロス（品番 VUA7091：サービスルート扱い）をおすすめします。
- **傷つき防止用のプロテクターなどは使わない**
- **紙やシール、ラベルを貼らない**
- **シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない**



- **市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない**

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：㈳私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (019) 652-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
長野支部	☎ (026) 225-7111
大宮支部	☎ (048) 643-5461
上野支部	☎ (03) 3832-1033
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (042) 529-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (076) 221-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (087) 821-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■MD、CD を良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	44
	有線放送を接続したい。	［ P-MD/AUX ］端子に接続します。 リモコンの［ **P-MD/AUX** ］をポンと押して“ AUX ”を選んでください。	44 45
	TV を接続したい。	［ P-MD/AUX ］端子に接続します。 リモコンの［ **P-MD/AUX** ］をポンと押して“ AUX ”を選んでください。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	44 45
MDの録音と演奏	**MD ネットワーク対応機器について教えて。**	カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	44
	録音した曲に上書きで録音したい。	MD はテープとは異なり、上書き録音はできません。 MD の録音残り時間が少ない場合は、ERASE 機能で不要な曲を消してから録音してください。	46 31
	一度録音した MD に追加で録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	―――
	録音中に、音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	―――
	MD の残り時間を知りたい。	MD 停止中にリモコンの［ **DISPLAY** ］を押して、“ MD Rem ”を表示させます。	43
	長時間ステレオ録音をしたい。	LPモード2倍／4倍の設定をしてから録音します。	16～17
	長時間ステレオ録音した曲の演奏はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	―――
	長時間ステレオ録音した MD はどの機器でも演奏できるの？	MD**LP** 対応の機器でなければ演奏できません。	16
その他	**引っ越ししても、そのまま使えるの？**	東日本、西日本に関係なく使えます。 ラジオのエリアバンクは設定しなおしてください。	22

こんな表示が出たら

	表 示	意味または処置
共通	ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
	ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
	CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
	ERROR	操作が違います。
MD操作中	BLANK DISC	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済み MD を入れてください。録音はそのまま行えます。
	CAN NOT EDIT	演奏中のタイトル入力後、MD 編集はできません。
	CAN'T MEMORY	転写元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
	DISC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。 MD に異常があるか、損傷しています。
	DISC FULL	MD の空き時間が足りません。
	DISC、PROTECTED（交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。
	EJECT ERROR　または LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れますので、MD を入れ直してください。
	EMERGENCY、STOP（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
	GROUP DATA FULL	MD の領域が足りません。タイトルを短くするか消去してください。
	MD F26	一度電源を切/入してから MD を入れ直してください。
	NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	PlaybackDISC	演奏専用 MD のため、録音や編集はできません。
	P - MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。 再度リモコンの［ **P-MD/AUX** ］を押してください。
	P - MD ERROR	ポータブル MD との通信エラーです。再度リモコンの［ **P-MD/AUX** ］を押してください。
	NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は音声は録音されていません。
	SCMS、CAN NOT COPY（交互に表示）	ビデオ CD 、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。
	SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
	TITLE FULL（約2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約100文字までです。
	TITLE OVER	101文字以上のタイトルが記録されていますが、約101文字以降は削除されます。
	TOC Reading	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
	TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
	TRACK×××、PROTECTED、 ERASE××??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。消去することはできます。
	UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。不要なタイトルや曲を消去してください。 （UTOC FULL の状態ではディバイドも行えません。）

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
システム全体に共通	**電源を切っているのに、表示が点灯して、次々と変化する。**	デモ機能が働いていませんか。	表紙
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。 ● ヘッドホンを接続していませんか。	10〜15 43
	予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	36〜40
		表示（◷PLAY、◷REC、SLEEP、ALARM）が点灯していますか。点灯させてください。	
	電源「切」時に時計が表示されない。	時計を合わせてください。	8
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	再設定してください。電源オフ時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	8
	表示が出ない。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでください。	7
MD	**演奏できない。**	寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1 時間ほど待ってください。	———
	録音できない。	● 演奏専用 MD を入れていませんか。 ● MD が誤消去防止状態になっていませんか。 ● すでに録音された時間または曲数（上限 254 曲）がいっぱいになっていませんか。不要な曲があれば、消してから録音してください。 （MD はたとえ 1 秒の録音でも約 2 秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、演奏側の時間表示より録音時間が少し長くなります。）	46
	MD を入れても曲数などが表示されない。	MD 以外のモード（CD、ラジオなど）になっていませんか。[■] を押して、MD に切り換えてください。	———
		MD が破損しているかもしれません。別の MD で確認してみてください。	———
	MD を入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	電源を入れ直してみてください。MD の排出中に無理な力を加えると、このようになる場合があります。	———
	コンバインやディバイドができない。 また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去を繰り返していると、録音データがしだいに細かく分断されていくため、左記のような状態になることがあります。（MD の記録方式上の制約です。） この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	———
		録音モード（標準／LP2／LP4／モノラル長時間）の異なる曲は、1曲にまとめることはできません。	29

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
CD	**演奏できない。** **CD を入れても曲数などが表示されない。**	●CD が裏表逆になっていませんか。 ●規格外の CD を使っていませんか。	10 47
		CD がひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。	―――
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	―――
	特定の個所が演奏できない。	CD が汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	47
ラジオ	**FM がよく受信できない。** **雑音やひずみが多い。**	ホイップアンテナの長さや向きを変えてみてください。	6
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	―――
		送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。 窓際など、条件の良い場所に設置してください。	―――
	AM がよく受信できない。 **雑音が多い。**	●AM ループアンテナを接続していますか。 ●AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 ●AM ループアンテナを本体から離してください。	6
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	―――
		アンテナのコードの近くに電源コードがある場合は、離してください。	―――
	テレビ放送が受信できない。	ラジオは FM バンドになっていますか。 テレビは1 ～ 3 チャンネルの音声のみ、FM バンドで受信可能です。	15
リモコン	**リモコンが働かない。**	● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と取り替えてください。	7
		本機との間に障害物はありませんか。	7

メモリーのリセット（初期化）

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット（初期化）してください。

• ボタンを押しても何も反応しない。
• メモリー内容を消して、再設定したい。

●メモリー内容をリセット（初期化）するには

① 電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の［ POWER ⏻/I ］を押し続けながら
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に“ ––––––––––––– ”が表示されたら
④［ POWER ⏻/I ］を離す

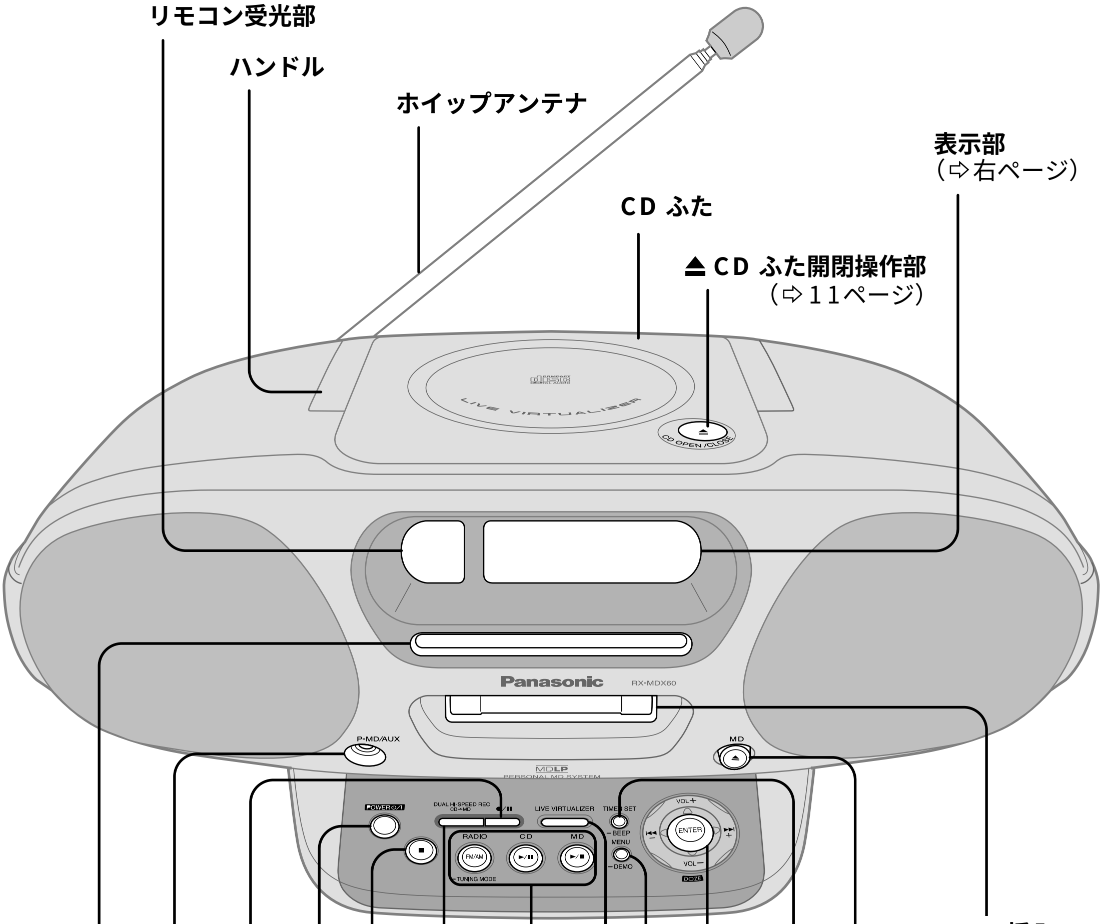
●メモリーをリセット（初期化）すると

• 高速録音は約74 分後まで使えません。
• 時計、放送局などの再設定が必要です。

必要なとき

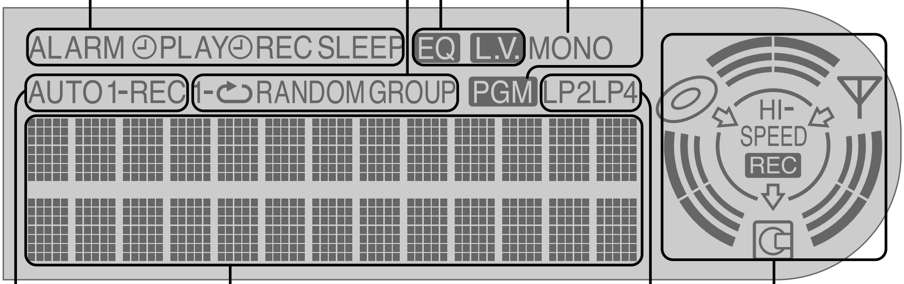
各部のなまえ

本体（操作部）



本体（表示部）

CD、MD 演奏モード表示
音質効果表示
モノラル表示
タイマー動作表示
ラジオプリセット、プログラム表示

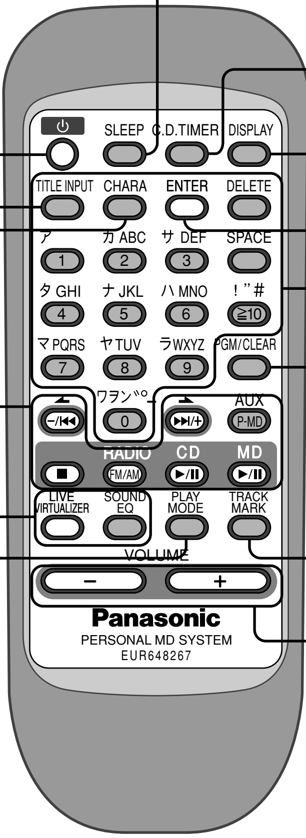


各操作に共通の表示部
MD 長時間録音モード表示
演奏、録音
CD 高速録音
モード表示
CD 録音モード表示

リモコン

このボタンはリモコンのみで操作できます。本体に同じ働きをするボタンはありません。

スリープ（おやすみ）タイマーボタン（⇨37ページ）
カウントダウンタイマーボタン（⇨39ページ）
電源ボタン
表示切換ボタン（⇨9、43ページ）
タイトル入力ボタン（⇨11ページ）
ENTER（実行）ボタン
文字切換ボタン（⇨32ページ）
文字・数字入力部ボタン（⇨18、32ページ）
CD、MD プログラム（予約演奏）、クリアー（予約解除）、ラジオのマニュアルメモリー設定ボタン（⇨19、23ページ）
基本操作部ボタン
音質・音場効果ボタン（⇨41ページ）
トラックマークボタン（⇨17ページ）
音量ボタン
演奏モード（リピート・ランダム・グループ）、FMモード（モノラル）切換ボタン（⇨15、18ページ）



保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、パーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

48〜51ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	パーソナル MD システム
品　番	RX-MDX60
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修　理　ご　相　談　窓　口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北　海　道　地　区

- **札幌**　札幌市厚別区厚別南2丁目17-7　☎(011)894-1251
- **旭川**　旭川市2条通21丁目左1号　☎(0166)31-6151
- **帯広**　帯広市西19条南1丁目7-11　☎(0155)33-8477
- **函館**　函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）　☎(0138)48-6631

東　北　地　区

- **青森**　青森市第二問屋町3-7-10　☎(017)739-9712
- **秋田**　秋田市御所野湯本2丁目1-2　☎(018)826-1600
- **岩手**　盛岡市羽場13地割30-3　☎(019)639-5120
- **宮城**　仙台市宮城野区扇町7-4-18　☎(022)387-1117
- **山形**　山形市流通センター3丁目12-2　☎(023)641-8100
- **福島**　福島県安達郡本宮町字南ノ内65　☎(0243)34-1301

首　都　圏　地　区

- **栃木**　宇都宮市御幸町194-20　☎(028)689-2555
- **群馬**　高崎市大沢町229-1　☎(027)352-1109
- **水戸**　水戸市柳河町309-2　☎(029)225-0249
- **つくば**　つくば市花畑2丁目8-1　☎(0298)64-8756
- **埼玉**　桶川市赤堀2丁目4-2　☎(048)728-8960
- **千葉**　千葉市中央区星久喜町172　☎(043)208-6034
- **東京**　東京都世田谷区宮坂2丁目26-17　☎(03)5477-9780
- **山梨**　甲府市下飯田2丁目1-27　☎(055)222-5171
- **神奈川**　横浜市港南区日野5丁目3-16　☎(045)847-9720
- **新潟**　新潟市東明1丁目8-14　☎(025)286-0171

中　部　地　区

- **石川**　石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80　☎(076)294-2683
- **富山**　富山市寺島1298　☎(076)432-8705
- **福井**　福井市開発4丁目112　☎(0776)54-5606
- **長野**　松本市大字笹賀7600-7　☎(0263)58-0073
- **静岡**　静岡市西島765　☎(054)287-9000
- **名古屋**　名古屋市瑞穂区塩入町8-10　☎(052)819-0225
- **岡崎**　岡崎市岡町南久保28　☎(0564)55-5719
- **岐阜**　岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30　☎(058)323-6010
- **高山**　高山市花岡町3丁目82　☎(0577)33-0613
- **三重**　久居市森町字北谷1920-3　☎(059)255-1380

近　畿　地　区

- **滋賀**　守山市勝部6丁目2-1　☎(077)582-5021
- **京都**　京都市南区上鳥羽石橋町20-1　☎(075)672-9636
- **大阪**　大阪市北区本庄西1丁目1-7　☎(06)6359-6225
- **奈良**　大和郡山市椎木町404-2　☎(0743)59-2770
- **和歌山**　和歌山市中島499-1　☎(073)475-2984
- **兵庫**　神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6　☎(078)272-6645

中　国　地　区

- **鳥取**　鳥取市安長295-1　☎(0857)26-9695
- **米子**　米子市米原4丁目2-33　☎(0859)34-2129
- **松江**　松江市平成町182番地14　☎(0852)23-1128
- **出雲**　出雲市渡橋町416　☎(0853)21-3133
- **浜田**　浜田市下府町327-93　☎(0855)22-6629
- **岡山**　岡山県都窪郡早島町矢尾807　☎(086)292-1162
- **広島**　広島市西区南観音8丁目13-20　☎(082)295-5011
- **山口**　山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23　☎(083)986-4050

四　国　地　区

- **香川**　高松市勅使町152-2　☎(087)868-9477
- **徳島**　徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108　☎(088)698-1125
- **高知**　南国市岡豊町中島331-1　☎(088)866-3142
- **愛媛**　松山市土居田町750-2　☎(089)971-2144

九　州　地　区

- **福岡**　春日市春日公園3丁目48　☎(092)593-9036
- **佐賀**　佐賀市本庄町大字本庄896-2　☎(0952)26-9151
- **長崎**　長崎市東町1949-1　☎(095)830-1658
- **大分**　大分市萩原4丁目8-35　☎(097)556-3815
- **宮崎**　宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2　☎(0985)85-6530
- **熊本**　熊本市健軍本町12-3　☎(096)367-6067
- **天草**　本渡市港町18-11　☎(0969)22-3125
- **鹿児島**　鹿児島市与次郎1丁目5-33　☎(099)250-5657
- **大島**　名瀬市矢之脇町10-5　☎(0997)53-5101

沖　縄　地　区

- **沖縄**　浦添市城間4丁目23-11　☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0102

主な仕様

ラジオ

受信周波数

FM	：76.0〜90.0 MHz,（TV 1ch〜3ch）
AM	：522〜1629 kHz（9 kHzステップ）

MD デッキ

記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	：44.1 kHz
圧縮／伸張方式	：ATRAC／ATRAC 3（MDLP）方式
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下

CD プレーヤー

サンプリング周波数	：44.1 kHz
量子化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DA コンバーター	：MASH（1 ビット DAC）

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

共通

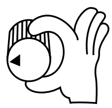
スピーカー	：7 cm／6 Ω　フルレンジ　2 個
入力端子	
P-MD (6P) / AUX (M3)	
P-MD、AUX (HIGH)	：－19 dBV
AUX (NORMAL)	：－10 dBV
出力端子	
PHONES	：ステレオミニ（M3） (適合ヘッドホンインピーダンス 16〜32 Ω)
実用最大出力	：6 W（3 W ＋ 3 W）（JEITA）
電源	：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	：17 W
最大外形寸法	
（幅×高さ×奥行き）	：405 × 170 × 260 mm（JEITA）
質量	：約 3.8 kg

電源オフ時の消費電力：約 0.6 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	RX-MDX60
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　AVC ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6513-S
M0402TK0